

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
『令和 7 年度研修のご案内』

- 臨床栄養師研修
- 栄養サポートチーム研修

2025 年度

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

Japanese Society on Nutrition Care and Management

目 次

臨床栄養師研修	5～8
臨床栄養師認定講座（公開）	9
栄養サポートチーム研修	10～12
履修互換認定一覧	13
認定講座日程表	15～19
令和7年度臨床研修施設一覧	26～32
臨床栄養師研修願書提出について	37
各研修費用一覧	38

はじめに

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
代表理事 三浦 公嗣

世界に類のない超高齢社会となったわが国において、保健・医療・福祉分野における栄養ケア・マネジメントを担う臨床栄養師の必要性はますます高まっています。

日本健康・栄養システム学会では、平成16年に臨床栄養師研修・認定制度を発足させ、今年度は22年目を迎えます。この間、およそ410名の臨床栄養師を輩出することができました。これらの臨床栄養師は、全国各地の病院、施設、行政、あるいは大学等において活躍し、臨床栄養や栄養ケア・マネジメントを推進するとともに、組織のマネジメントや後進の指導に活躍しています。

臨床栄養師研修では、米国の登録栄養士の教育制度を手本とし、病院・施設・在宅での切れ目のない継続的栄養ケア、栄養サポートチーム、糖尿病等慢性疾患、重症患者の栄養管理等の「臨床栄養力」と組織や業務の課題分析や問題を解決できる「マネジメント力」の両能力の修得をめざしています。

100時間の認定講座は、これらを専門とする大学教員等と臨床栄養師を講師とし、講義とともに演習や症例検討による双方向のコミュニケーションを重視しています。

900時間の臨床研修は、学会登録の約350か所の臨床栄養師研修施設から、研修生自身が研修施設を選択するマッチング方式を採用しています。急性期（特定集中治療室及び令和6年度報酬改定対応を含む）及び慢性期の病棟・精神科病院・栄養サポートチーム・介護保険施設（令和6年度診療報酬・介護報酬改定対応）での研修、外来・在宅訪問等の地域栄養活動への参加、給食経営管理の実践等を臨床栄養師等が務めるプリセプターのもとで体験し、自分にも「できる」という「コンピテンシー・実践力」が身につきます。

臨床栄養や栄養ケアの初心者、再就職や在宅訪問などへの転職をめざす方、そして人材育成や職場の課題に直面している管理職や管理職候補者にも最適な研修です。さらに、大学院生や養成大学教員の臨床経験としても評価されています。

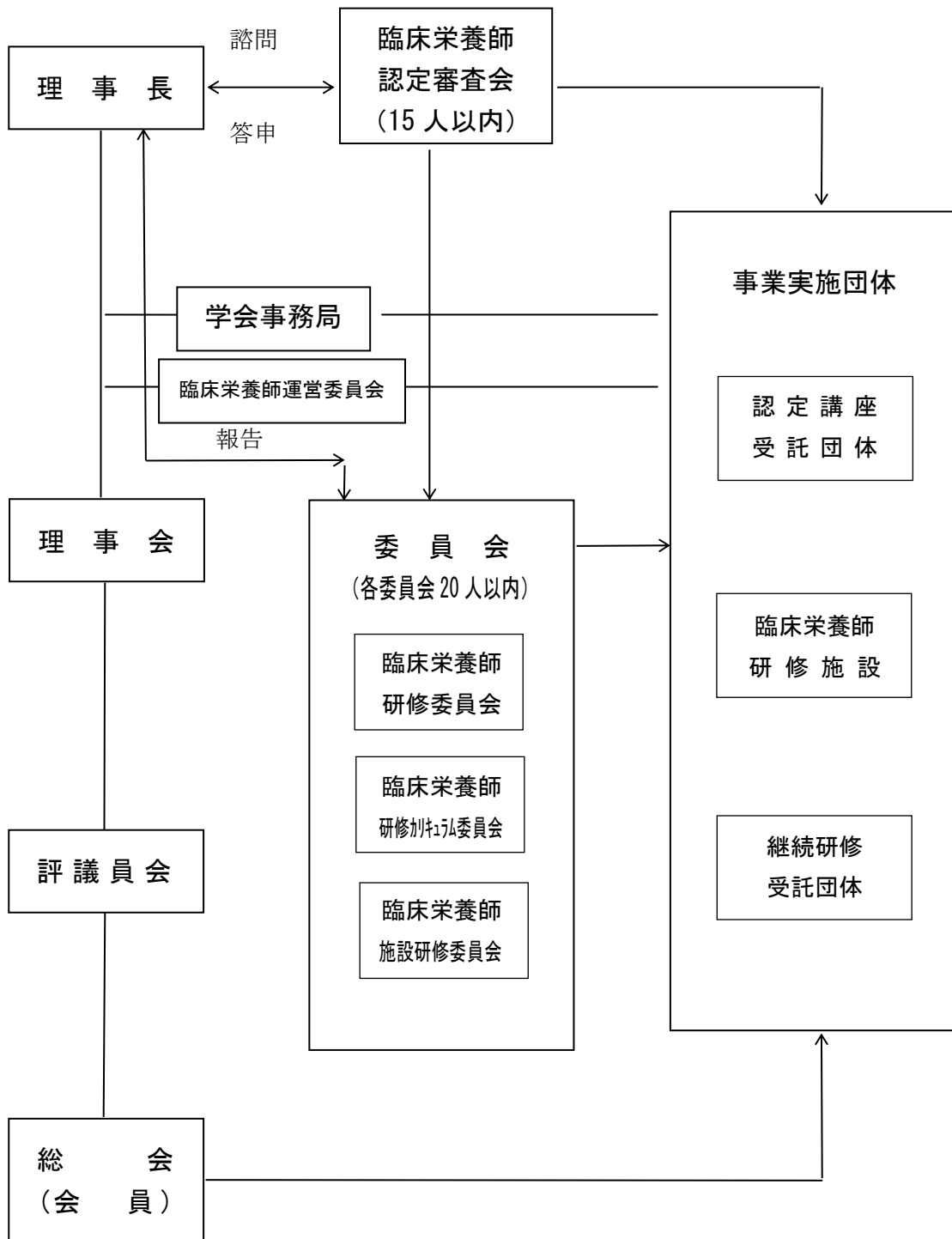
臨床栄養師資格は、厚生労働省によって栄養サポートチームの加算要件として認められています。また、指定されている他学会の資格取得者、臨床栄養師研修施設の管理栄養士、大学院生には講座や臨床研修の免除も設け、多くの方々に研修に参加して頂けるように配慮しております。

さらに、医師、薬剤師、看護職、管理栄養士等を対象とした栄養サポートチーム研修も設置し、管理栄養士以外の多職種の方々にご参加頂けることを期待しております。

詳しくはホームページ (<https://j-ncm.com/>) をご覧になるか、本学会の研修事務担当にメール (nst-jncm@j-ncm.com) を頂ければ資料を添付して返信いたします。電話（080-3936-8590）での問い合わせも受け付けております。

多くの管理栄養士の方が臨床栄養師となって、生活習慣病や高齢社会の問題に対して臨床栄養やマネジメントに関する知識・経験を生かして、栄養から発信するイノベーターとして活躍しましょう。

日本健康・栄養システム学会 臨床栄養師養成組織



代表理事	三浦 公嗣	藤田医科大学 特命教授
副理事長	竹田 秀	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院 理事長
副理事長	加藤 昌彦	椋山女学園大学 生活科学部 教授
副理事長	加藤 章信	盛岡市立病院 院長
専務理事	杉山 みち子	神奈川県立保健福祉大学 名誉教授
理事	宇田 淳	滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 教授
理事	宇都宮 啓	慶應義塾大学 医学部 客員教授
理事	榎 裕美	愛知淑徳大学 食健康科学部 健康栄養学科 教授
理事	大森 正英	中部学院大学 看護リハビリテーション学部 教授・学部長 附属図書館 館長
理事	合田 敏尚	静岡県立大学 食品栄養科学部 名誉教授・客員教授
理事	小山 和作	日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長
理事	杉森 裕樹	大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 教授
理事	須永 美幸	聖徳大学 人間栄養学部 人間栄養学科 特任教授
理事	高崎 美幸	東葛クリニック病院将来構想戦略室CA(チーフアドバイザー)、 松戸市医師会 松戸市在宅医療・介護連携支援センター 管理栄養士
理事	田中 和美	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授
理事	堤 ちはる	相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 特任教授
理事	中村 丁次	神奈川県立保健福祉大学 名誉学長
理事	西宮 弘之	文教大学 健康栄養学部 管理栄養学科 特任教授
理事	野地 有子	姫路大学大学院特任教授 兼 看護学部特任教授 千葉大学名誉教授
理事	信川 益明	医療法人社団千禮会 理事長
理事	早瀬 仁美	福岡女子大学 名誉教授
理事	深柄 和彦	東京大学医学部附属病院 手術部 教授
理事	藤谷 朝実	神奈川県立保健福祉大学地域貢献アドバイザー 横浜市東部病院 非常勤管理栄養士
理事	矢野目 英樹	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 栄養科科長
理事	山下 茂子	元 熊本県立大学 環境共生学部 食健康科学科 非常勤講師
監事	高橋 加代子	実践女子大学 生活科学部 食生活科学科 准教授
監事	野本 尚子	千葉大学医学部附属病院 臨床栄養部 栄養管理室長
名誉理事長	板倉 弘重	医療法人IHL 品川イーstownメディカルクリニック 理事長・院長
事務局長	小山 秀夫	兵庫県立大学 名誉教授

(所属等は令和6年4月現在)

【臨床栄養師研修】

米国の登録栄養士の教育制度を手本にした管理栄養士のための唯一のインターン研修制度。100 時間の認定講座と 900 時間の臨床研修（一般病院（特定集中治療室等を含める）、精神科病院、医療療養病床・回復期リハビリテーション・介護保険施設、地域栄養活動（外来栄養指導・訪問栄養食事指導等）の栄養ケア・マネジメント、栄養相談、給食経営管理等）。認定講座、臨床研修の一部は症例検討等で互換認定。修了者は認定試験、論文試験合格後、臨床栄養士の資格が授与されるとともに、栄養サポートチーム加算の要件の取得可。実務者、大学院生、教員等の管理栄養士を対象とし、既存資格等による時間免除制有。

臨床栄養師の定義

臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努めることのできる能力を有している学会員である管理栄養士である（臨床栄養師資格認定規則第 2 条より）。

臨床栄養師の 6 つの能力

臨床栄養師は 6 つの能力を備える。（臨床栄養師資格認定規則第 3 条より）

- ①臨床栄養師としての理念、使命感を備える。
- ②専門職のチームメンバーとして、連携のとれた業務活動ができる。
- ③栄養ケア・マネジメントの業務活動ができる。
- ④栄養ケア・マネジメントの業務活動上の問題を明確にし、解決策を提示できる。
- ⑤リーダーにふさわしいマネジメント能力を備える。
- ⑥積極的に自己学習できる。

研修プログラム

臨床栄養師研修は、講義 100 時間の認定講座と臨床研修 900 時間の認定研修である。なお、これらの研修プログラムの達成基準は、米国の登録栄養士の知識、技術、コンピテンシー（competency;実践能力）の達成基準に準拠して作成したものである。臨床栄養師研修カリキュラムにおける達成目標、実施、評価指針は別表参照。

認定講座

認定講座は、5～11 月に開催され 1 年間で取得できるカリキュラムが作成されているが、最長 3 年間の取得が可能である。履修期間経過後は、臨床栄養師研修委員会への延長届（任意用紙）提出、承認により、1 年毎延長することができる。

規程に基づき、認定講座欠席の場合には、その理由により指定課題のレポートの提出やオンデマンド配信された動画の視聴によって出席となる（栄養サポートチーム研修の科目を除く）。

認定講座日程

15～19 ページのプログラムをご確認下さい。※いずれの日程からでも研修を開始できます。

WEB により行います。インターネットに繋がったパソコン、スマートフォン、タブレットをご用意ください。臨床栄養師研修お申込みの方には、講座の申込方法と受講方法をご案内します。

講座内容

番号	内 容	時間	番号	内 容	時間
1	倫理とチーム活動	2	10	退院(所)計画・指導	4
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2	11	在宅栄養ケア・マネジメント	4
3	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント	2	12	集団の栄養評価と計画	6
4	栄養ケア・マネジメントの運営	6	13	地域栄養活動	2
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	8	14	制度と臨床栄養活動	2
6	特定保健用食品、保健機能食品・病者用食品の検討	2	15	給食経営管理	4
7	経腸・静脈栄養法	10	16	経営の基礎	8
8	栄養教育	14	17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2
9	症例検討と発表	20	18	その他の臨床栄養師の養成に必要な科目	2

臨床研修

臨床研修は、当学会の臨床栄養師研修施設において、監督責任者のもとに①急性期病院（特定集中治療室等を含める）、精神科病院 350～400 時間、②回復期リハビリテーション・医療療養病床・介護保険施設 150～200 時間、③地域栄養活動（外来栄養指導・訪問栄養食事指導、介護予防のための栄養改善サービス等 居宅患者等への栄養管理・相談）150～200 時間、④給食経営管理（フードサービスとマネジメント）150～200 時間による 900 時間を、認定講座開始後から実施する。

* ①～④の時間配分は臨床栄養師研修施設側と研修生のニーズに応じて 900 時間に調整可。

* また、臨床研修は、研修マニュアルに基づいて行われる。研修マニュアルは、臨床研修のカリキュラムが記載されたものである。研修マニュアルは、臨床研修プログラムの達成目標、研修の指針及び評価の指針が、マニュアル作成要綱に基づき、実施可能性、具体性を重視して研修施設ごとに作成され、当学会による承認を受けている。

履修期間は 3 年間であるが、履修期間経過後は、臨床栄養師研修委員会への延長届（任意用紙）提出、承認により、1 年毎延長することができる（認定講座同様）。

研修の履修互換認定について

認定講座及び臨床研修として履修すべき研修科目・時間の一部に互換を認定する要件を満たすと認められた場合には互換することができる。履修互換認定の申請をする者は、認定講座出願時に「臨床栄養師認定研修履修互換認定申請書」を提出する（臨床栄養師認定研修履修互換認定細則参照）。

臨床研修施設の決定について

臨床研修を実施する施設の決定は、研修生の希望と臨床栄養師研修施設の意向を踏まえて調整する。また研修生が臨床研修施設を容易に選定できるよう、臨床栄養師研修施設の概要、連絡先等の情報を提供する体制を整備する。決定までの流れは下記の通り。

- ①学会は、ホームページ上に臨床栄養師研修施設一覧を提供する。
- ②臨床研修希望者は、研修施設履修希望票（様式第（臨）－04 号）及び履歴書を学会に提出する。
- ③学会は、臨床研修希望のあった臨床栄養師研修施設に依頼状・②の履歴書を郵送により提供する。
- ④研修希望施設は、選考手続き（面接等）がある場合には、臨床研修希望者に通知し選考する。
- ⑤臨床研修施設は、臨床研修履修者採用希望票（様式第（臨）－05 号）を学会に提出する。

⑥学会は、臨床研修希望者及び臨床栄養師研修施設に対して決定事項を、臨床研修履修施設決定通知書（様式第（臨）－06号）及び臨床研修履修者決定通知書（様式第（臨）－07号）によりそれぞれ通知し、臨床研修希望者には、臨床研修施設の連絡先、担当者を知らせる。

※研修日程については、臨床研修施設と臨床研修希望者とが協議して決める。

注：研修施設の選考に必要な各自の履歴書は各施設に送らず、願書提出時に学会に提出すること。

認定試験について

認定試験は、年1回実施される。認定研修（認定講座と臨床研修）の後に受験する。

認定試験免除について

次の号のいずれかに該当し、臨床栄養師研修委員会が臨床栄養師資格認定者と同等以上の能力があると判断した場合には、試験を免除することができる。

(1)臨床栄養師研修及び継続研修等の講師やその経験者、(2)役員会、総会、分科会、地方会、委員会等の活躍や貢献の認められる者、(3)臨床栄養師研修施設の申請を行った監督責任者、(4)臨床栄養師研修施設において、監督責任者を除く臨床研修指導に当たる管理栄養士（ただし、1施設1名までとし、研修責任者（施設代表者）から推薦のあった者）。

認定論文について

学会が実施する臨床栄養師認定論文の提出資格は、以下のいずれにも該当すること。

(1)管理栄養士、(2)当学会の会員、(3)認定研修を終了していること、(4)禁治産者及び準禁治産者でないこと、(5)医療・福祉施設等（臨床栄養師研修施設に限らない）における実務経験を1年以上有していること（大学院修士もしくは博士課程を修了している者は、大学院修了を以て実務経験を1年以上に代えることができる）。

認定論文は、臨床栄養師研修委員会が指定した者による事前指導を受けて提出し、臨床栄養師認定審査会で審査される。論文の内容は、勤務形態は問わないが実務経験に基づくものとなる。不合格の場合には、1年以内ならば論文の再提出が認められる。再提出後も合格しない者については、認定試験を再受験する。（認定論文審査に必要な書類についてはホームページ上の論文審査概要参照のこと）

資格認定・登録

臨床栄養師資格合格後、登録の手続きを実施する。臨床栄養師証票と臨床栄養師章が付与される。

継続研修について

臨床栄養師資格認定・登録後も能力維持のために認定登録年月の1日から6年後の3月31日までに100単位以上の継続研修が必要となる。100単位のうち、学会主催の研修会、学術集会等から計60単位以上を必修とし、そのうち学会主催の継続研修から20単位以上を履修しなくてはならない。その後5年ごとに登録更新する。

費用

後述の『臨床栄養師資格認定・登録にかかる費用一覧』をご覧ください。

大学院生及び大学院生であった者（以下「大学院生」という。）の臨床栄養師研修受講について

■認定講座（100時間）の一部免除及び大学院単位認定について

- ① 第20回(平成17年度)以降の管理栄養士国家試験合格者は認定講座100時間のうち16時間の免除を受けることができる（臨床栄養師認定研修履修互換認定細則第2条1項目）。

※免除となる科目は、栄養アセスメント・栄養ケア計画4時間、特定保健用食品、保健機能食品、病者用食品の検討2時間、経腸・静脈栄養法2時間、栄養教育4時間、症例検討と発表2時間、集団の栄養評価と計画（業務評価を含む）2時間、の16時間。

- ② 臨床栄養師研修担当責任者が配置されている大学院の大学院学生は、大学院履修科目において、認定講座の履修時間に互換認定を申請することができる（臨床栄養師研修における大学院履修科目互換認定細則第2条3項目、第4条、第5条2項目）。

※大学院履修科目について申請することができる科目は、栄養アセスメント・栄養ケア計画4時間、経腸・静脈栄養法6時間、栄養教育12時間、症例検討19時間、退院計画・指導4時間、在宅栄養ケア・マネジメント3時間、集団の栄養評価と計画4時間、地域栄養活動2時間、給食経営管理4時間、経営の基礎8時間、の計66時間まで。

- ③ 大学院の演習科目「特別インターンシップ」として位置づけ、大学院修了要件としての取得単位の一つとして認定も可（静岡県立大学や神奈川県立保健福祉大学など*）。

- ④ 大学院履修時間が最大の66時間承認された場合、認定講座のコア科目は21時間であるが、学会主催の研修会、学術集会等に出席することで1日につき20時間（NST研修科目を除く）が認定されるので、認定講座の受講は残り6時間で済む。

※履修する科目は、倫理とチーム活動2時間、科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動2時間、経腸・静脈栄養法2時間の6時間。

- ⑤ 大学院生であった者は履修科目を証明する書類及び履修科目内容を示す書類（シラバス等）を提出することとする。

■受講料の免除について

- ① 認定講座の受講料は一般121,000円だが、大学院生は39,600円である。

また、免除となっている科目の受講は自由で、全て受講しても金額は変わらない。

- ② 臨床研修にかかる費用 [198,000円(220円×900時間)+手数料11,000円] は、大学院演習科目受講という位置づけで、大学*が負担している場合もあります（福岡女子大学*）。

■その他

- ① 臨床栄養師資格が授与されると、栄養サポートチーム加算（週1回200点）の要件を満たすことができる。

- ② 臨床栄養師の資格取得には900時間と長時間の臨床研修が必要なため、大学院在学中のほうが日程調整しやすい。

- ③ 管理栄養士の資格取得後に研修を受けるため、学部の臨地校外実習とは異なり実際の栄養指導業務を担当させてもらうことができる。

- ④ 様々な臨床分野の第一線の現場で臨床研修を受けることができ、診療科・病棟別栄養管理（特定集中治療室等を含める）、栄養サポートチーム、介護、障害・福祉サービス、特定保健指導・介護予防やCKD予防等の栄養指導（訪問を含める）の業務を通して、実践栄養の専門的技術の質の向上を図ることができる。

- ⑤ 実務経験として履歴書に記載することができる。

【臨床栄養師認定講座（公開）】

平成 30 年度より、臨床栄養師取得を目的とされない方（学会員・非会員問わず）どなたでも、栄養ケア・マネジメントや臨床栄養について理解を深めたい方の研修参加が可能になりました。一日単位でご参加頂けますので、ぜひお誘いあわせの上ご参加下さい。

インターネットでご参加下さい:WEB により行います。インターネットに繋がったパソコン、スマートフォン、タブレットをご用意ください。お申込みの方には、受講方法をご案内します。

日程：15、17、18 ページのプログラムをご確認下さい。※8/9～12 の NST 研修部分は参加できません。

申込締切：各開催日の 5 日前まで（土日祝日除く）

申込方法：学会ホームページ掲載又は下記 URL（申込 Form）、もしくは
右の画像を読み取ってお申込みください。

<https://forms.gle/mZieC9H8hAh9XCrdA>

上記の方法ができない方は、メールで下記内容をお送り下さい。

メール送信先 nst-jncm@j-ncm.com

件名「令和 7 年度認定講座受講希望〇月〇日分」（〇には日付を入れて下さい）

本文 ①氏名、②勤務先名、③連絡先の電話、メールアドレス、④会員／非会員、
⑤職種、⑥受講日が複数の場合には受講日

※追って受付完了メールをお送りします。お申込みから一週間経っても届かない場合・開催日の 5 日前までに届かない場合は、nst-jncm@j-ncm.com へご連絡下さい。

※送信後に追加がありましたら、改めて申込 Form にご入力ください。

※キャンセルの場合には、メールにて nst-jncm@j-ncm.com へご連絡をお願いします。



費用：会員 1 時間につき 1,500 円（研修 6 時間：9,000 円、8 時間：12,000 円）

非会員 1 時間につき 2,000 円（研修 6 時間：12,000 円、8 時間：16,000 円）

振込先は受付完了メールに記載してお知らせいたします。

受付完了メールを受信後、令和 7 年 4 月 1 日以降、各講座開催の 3 日前までにお振込みください。お振込みが遅れる場合には、必ずメールでお申し出ください。

※振込後、欠席等の場合にも費用は返却できません。また、勤務先とご本人で費用を重複して振込むことのないようご注意ください。

※費用振込の際の払込受領証が領収書の代わりとなりますので、領収書は発行していませんが、インボイス制度に対応した領収書を希望される方は nst-jncm@j-ncm.com へご連絡ください。

尚、臨床栄養師資格取得を希望する場合、受講済み科目・時間数は、受講参加証の提出により履修互換認定されます。

また、欠席者は、その理由によりオンデマンド配信された動画の視聴も可能です（栄養サポートチーム研修の科目を除く）。

問合せ先：〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科内
一般社団法人日本健康・栄養システム学会 研修担当事務 加納亜紀子

TEL：080-3936-8590

E-mail：nst-jncm@j-ncm.com

※お問合せはなるべくメールにてお願い致します。

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

【栄養サポートチーム研修】

診療報酬栄養サポートチーム加算の施設基準である専従者及び専任者となる医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等のための研修です。

講義 30 時間と臨床研修 10 時間（但、医師は講義 10 時間）により修了証を授与いたします。

なお、臨床栄養師研修の認定講座には栄養サポートチーム研修が含まれています。

また、栄養サポートチーム研修を修了された管理栄養士の皆様は、その後臨床栄養師研修を申込みされる際には、講義及び臨床研修時間は履修互換認定としてご申請頂けます。

募集申込について

申込締切：令和 7 年 7 月 7 日（月）朝 9：00 まで。



申込方法：学会ホームページ掲載又は下記 URL（申込 Form）、もしくは
右の画像を読み取ってお申込みください。

<https://forms.gle/f9PtveH11t2mHubu8>

上記の方法ができない方や、複数名のお申込みは、メールにて下記内容をお送り下さい。

メール送信先 nst-jncm@j-ncm.com

件名「令和 7 年度栄養サポートチーム研修希望」

本文①氏名（姓と名の間にスペースを入れて下さい。漢字の間違えにご注意下さい。

申込時の氏名が修了証に記載されます）

②生年月日

③勤務先名、〒番号、住所

④研修テキスト送付先の〒番号、住所（③と同じ場合には「③と同じ」で結構です。）

⑤修了証送付先として自宅をご希望の方は自宅〒番号、住所（原則、勤務先に送付
させていただきます。自宅転居等による修了証の未着を防ぎ確実にお届けするため。）

⑥連絡先の電話、メールアドレス（緊急時、研修当日に連絡の取れる電話番号）

⑦職種

⑧臨床研修希望病院を 5 つまで（26～32 ページ「臨床栄養師研修施設一覧」から病
院のみ。学会認定研修施設のみ。医師は記載不要。）

※キャンセルの場合には、決まり次第お早めにメールにて nst-jncm@j-ncm.com へ必ずご
連絡をお願いします。

申込の受付：先着 300 名様まで順次「受付完了メール」をお送りしますので、必ずご確認下さい。

お申込みから（土日祝を除いて）3 日経っても、また 7 月 8 日（火）になっても受付
完了メールが届かない場合は nst-jncm@j-ncm.com へご連絡下さい。

尚、申込み締切日前であっても、満席となり次第、受付を終了させていただきます。

受講資格

栄養サポートチームを担う予定の医師、コメディカル

（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等で、学会会員・非会員を問いません）

講義日程

令和7年8月9日（土）～8月10日（日）（医師の方）

8月9日（土）～8月12日（火）（医師以外の職種の方）

※開始時間、終了時間は16、19ページの栄養サポートチーム研修日程表を参照してください。

WEBにより行います。インターネットに繋がったパソコン、スマートフォン、タブレットをご用意ください。お申込みの方には、受講方法をご案内します。

費用

医師の方 22,000円（教材を含む）

医師以外の職種の方 55,000円（教材、実習を含む）

振込先は受付完了メールに記載してお知らせいたします。受付完了メールを受信後、令和7年4月1日以降7月11日（金）までにお振込みください。お振込みが遅れる場合には、必ずメールでお申し出ください。

※ 振込後、キャンセル等による費用の返却は一切できません。また、勤務先とご本人で費用を重複して振込むことのないようご注意ください。

※ 費用振込の際の払込受領証が領収書の代わりとなりますので、領収書は発行していませんが、インボイス制度に対応した領収書を希望される方は nst-jncm@j-ncm.com へご連絡ください。

教材

お申込み時の研修テキスト送付先住所へ7月下旬にお送りします。

研修科目と内容、研修の修了について

次頁の科目 30 時間の受講及び、栄養アセスメント・栄養ケア計画、経腸・静脈栄養、栄養教育を中心とした臨床研修 10 時間を受けて頂きます。

臨床研修については、できるだけ早期に修了証を取得していただくために自施設での実習をお勧めしております。なお、当学会の臨床栄養師研修施設に登録されていない場合には、実習を行う前に臨床栄養師研修施設へのご登録が必要です。臨床栄養師研修施設のお申込みは、P44 の申込書をお送りいただきましたら、詳細をメールにてご案内いたします。

他施設での臨床研修を希望の場合には、講座終了後にマッチングを行い、臨床研修施設を決定させていただきます。臨床研修施設の決定まで数か月かかる場合があります。実施時期は、臨床研修実施施設決定後に、臨床研修施設とご相談の上決めて頂きます。

これらの研修を修了したコメディカルには、研修修了証を授与致します。

医師は、次頁の科目 10 時間の受講終了で修了証を授与致しません（臨床研修不要）。

I. 認定講座における栄養サポートチーム研修科目

番号	内 容	医 師 の 時 間	医師以外 の職種の 時 間
1	倫理とチーム活動 通知項目：ル	2	2
3	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント 通知項目：ロ		2
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画 通知項目：イ、ロ、ホ、ト、リ、ヌ		8
6	特定保健用食品、保健機能食品・病者用食品 通知項目：ロ		2
7	経腸・静脈栄養法（症例を含める） 通知項目：ハ～ヌ	8	10
10	退院(所)計画・指導 通知項目：ル、ヲ		4
11	在宅栄養ケア・マネジメント 通知項目：ヲ		2
	計	10	30

II. 認定講座番号との対応表

通知項目（イ）～（ヲ）	認定講座対応番号（上記表 I の番号）
（イ）栄養障害例の抽出・早期対応（スクリーニング法）	5
（ロ）栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導	3, 5, 6
（ハ）経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘	7
（ニ）経静脈輸液適正調剤法の取得	7
（ホ）経静脈栄養のプランニング・モニタリング	5, 7
（ヘ）経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導	7
（ト）経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング	5, 7
（チ）簡易懸濁法の実施と有用性の理解	7
（リ）栄養療法に関する合併症の予防・発症時の対応	5, 7
（ヌ）栄養療法に関する問題点・リスクの抽出	5, 7
（ル）栄養管理についての患者・家族への説明・指導	1, 10
（ヲ）在宅栄養・院外施設での栄養管理法の指導	10, 11

問合せ先

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科内

一般社団法人日本健康・栄養システム学会

研修担当事務 加納亜紀子

TEL : 080-3936-8590

E-mail : nst-jncm@j-ncm.com

※お問合せはなるべくメールにてお願い致します。

令和7年度 認定講座講師一覧

<アイウエオ順> <敬称略>

講師名	所属・職名	講座名
1 上島 順子	NTT東日本関東病院 栄養部	症例検討と発表(がん患者に対する栄養管理)
2 宇田 淳	滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 教授	栄養ケア・マネジメントと情報管理
3 榎 裕美	愛知淑徳大学 食健康科学部 健康栄養学科 教授	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動
4 麻植 有希子	SOMPOケアフーズ株式会社 栄養管理部 部長	給食経営管理
5 大石 朋子	湘南鎌倉医療大学 看護学部 准教授	退院(所)計画・指導(経腸栄養)
6 梶井 文子	東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 老年看護学 教授	栄養アセスメント・栄養ケア計画
7 片岡 陽子	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団川崎市南部地域療育センター	症例検討と発表(障害者)
8 加藤 昌彦〇	椛山女学園大学 生活科学部 教授	経腸・静脈栄養法(経腸栄養)
9 鎌田 由香	宮城学院女子大学 生活科学部 食品栄養学科 教授	栄養教育(生活習慣病:腎臓病)
10 蒲池 桂子	女子栄養大学 栄養クリニック 教授	症例検討と発表(糖尿病)
11 苅部 康子	社会福祉法人親善福祉協会 介護老人保健施設 リハパーク舞岡 栄養課 課長	栄養ケア・マネジメントの運営
12 菅野 浩	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県横浜市東部病院 薬剤部 部長	経腸・静脈栄養法(経腸栄養)
13 工藤 雄洋	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県横浜市東部病院 栄養部 部長	経腸・静脈栄養法:NSTの実際と症例 症例検討と発表(脂質代謝異常)
14 合田 敏尚	静岡県立大学 食品栄養科学部 名誉教授・客員教授	保健機能食品、病者用食品の検討
15 古賀 奈保子	医療法人社団 いばらき会 いばらき診療所	在宅栄養ケア・マネジメント(高齢者在宅) 栄養教育(カウンセリング・コミュニケーション)
16 五味 郁子	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授	栄養教育(保健指導)
17 小山 秀夫	兵庫県立大学 特任教授・名誉教授	経営の基礎
18 西連地 利己	獨協医科大学 看護学部看護医科学(基礎)領域 教授	集団の栄養評価と計画
19 新谷 恵子	医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 栄養部長	症例検討と発表(病院基礎)
20 清野 富久江	国立保健医療科学院	制度と臨床栄養師
21 高崎 美幸	特定医療法人財団松園会 東葛クリニック病院 医療技術部 栄養ケア・ステーション 課長	退院(所)計画・指導 症例検討(症例検討の基本)
22 高田 健人	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 講師	栄養ケア・マネジメントの運営
23 多田 由紀	東京農業大学 応用生物科学部栄養科学科 保健栄養学研究室 准教授	集団の栄養評価と計画
24 田中 明	女子栄養大学 名誉教授	特別講義 糖尿病指導に必要な基礎知識 症例検討と発表(糖尿病)
25 田中 和美	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 教授	栄養アセスメント・栄養ケア計画(福祉基礎)
26 田中 裕美子	社会医療研究所	在宅栄養ケア・マネジメント
27 谷中 景子	医療法人社団 千春会 千春会病院 栄養科 統括主任	症例検討と発表(ターミナルケア)
28 堤 ちはる	相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 特任教授	栄養教育((子育てと食支援)
29 堤 亮介	平成医療福祉グループ 栄養部 部長	給食経営管理 栄養ケア・マネジメントの運営(継続的品質改善活動)
30 遠又 靖文	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科 准教授	集団の栄養評価と計画
31 鳥井 隆志	兵庫県立尼崎総合医療センター 栄養管理部 栄養管理課 課長補佐	症例検討と発表(小児・障害児)
32 西井 穂	神戸女子大学 家政学部 管理栄養士養成課程 講師	経営の基礎
33 野地 有子	姫路大学大学院 特任教授兼看護学部特任教授、千葉大学 名誉教授	地域栄養活動(自治体やボランティア活動団体との連携を含む)
34 野本 尚子	千葉大学医学部附属病院 臨床栄養部 栄養管理室長	症例検討と発表(高齢者消化管)
35 深柄 和彦	東京大学医学部附属病院 手術部 教授	経営の基礎 経腸・静脈栄養法(静脈栄養)
36 藤谷 朝実	神奈川県立保健福祉大学 地域貢献アドバイザー、社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部神奈川県横浜市東部病院	栄養教育(低栄養状態) 栄養教育(小児・障害児者)
37 星野 郁子	公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院 栄養管理部 課長	症例検討と発表(脳血管障害)
38 三浦 公嗣	藤田医科大学 特命教授	倫理とチーム活動
39 三原 法子	山形大学 地域教育文化学部 文化創生コース 講師	栄養アセスメント・栄養ケア計画(水電解質と輸液)
40 宮島 功	社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部 部長	栄養教育(循環器疾患)
41 矢野目 英樹	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 栄養科科長	経営の基礎 栄養アセスメント・栄養ケア計画(症例検討) 症例検討と発表(ICU等、周術期)

○臨床栄養師研修委員長

(所属等は令和7年1月時点)

	開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
1	5月17日 (土) 10:00~ 17:00	経営の基礎	小山秀夫（兵庫県立大学特任教授・名誉教授）	医療・介護・福祉における、栄養ケア・マネジメントの現在及び将来をみすえたマネジメントの基本を学び、行動するための必須講義。	2時間	10:00~ 12:00
			矢野目英樹（相澤病院栄養科科长）	病院の早期栄養介入管理加算、周術期栄養管理加算等の診療報酬に対応した先進的な栄養部門管理者のマネジメント、人材採用・教育、イノベーションに関する実績から学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
			深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	特定集中治療室等の早期栄養介入管理加算、周術期栄養管理加算等の診療報酬の新設にあたり、エビデンスやガイドラインによる裏付けをされた臨床外科代謝学、病院管理の第一人者から学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
2	5月18日 (日) 10:00~ 17:00	制度と臨床栄養師	清野富久江（国立保健医療科学院）	栄養政策からみた医療・介護・福祉における栄養ケア・マネジメントと人材育成を含めた今後の課題とその対応について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		栄養ケア・マネジメントの運営	高田健人（十文字学園女子大学講師）	医療・介護・福祉における栄養ケア・マネジメントについて、その歴史、構造、プロセス、評価の要点とその考え方やエビデンス、将来をみすえて強化すべき課題とその対応を学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
			苅部康子（介護老人保健施設 リハパーク舞岡栄養課課長）	小規模施設での栄養ケア・マネジメントの体制と実務の現状と将来をみすえ課題について介護保険施設の先進的な取り組みから学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
3	6月22日 (日) 10:00~ 17:00	経営の基礎（給食経営管理への対応）	西井穂（神戸女子大学講師）	マネジメントの観点から給食経営管理者に必要な課題とその対応について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		給食経営管理	堤亮介（平成医療福祉グループ栄養部部長）	栄養ケア・マネジメントにおける給食経営管理の意義、実践現場が抱える様々な問題（コンフリクトを含めて）とその解決について学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
			麻植有希子（SOMPOケアフーズ株式会社栄養管理部部長）	給食経営管理者に必要な能力として専門性、マーケティング、コミュニケーション能力、経営への参加、戦略立案から人の心を動かすプレゼンテーションまでを学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00

開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
8月9日 (土) 9:30~ 18:20	経腸・静脈栄養法（経腸栄養） 【基礎】	加藤昌彦（相山女学園大学教授）	臨床的に安定している患者の栄養ケア計画作成・補給方法（特に経腸栄養）から実践までを、特に「栄養治療と栄養療法」「経腸栄養～基礎から応用」「エネルギー・各種栄養素必要量の算定」等についての最新の知とその実践方法を学ぶ。	3時間	9:30~ 12:30
	経腸・静脈栄養法（経腸栄養） 【基礎】（懸濁法等 薬剤との関係）	菅野浩（済生会横浜市東部病院薬剤部部長）	NSTにおいて必要な経腸栄養法における簡易懸濁法などの薬剤との関係について学ぶ。	1時間	13:20~ 14:20
	倫理とチーム活動～医療介護サービスとチーム活動を中心に～	三浦公嗣（藤田医科大学特命教授）	医療・介護サービスにおける倫理を踏まえて、NSTや栄養ケア・マネジメントに際したチームアプローチの根幹となる基本的考え方について学ぶ。	2時間	14:20~ 16:20
	科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	榎裕美（愛知淑徳大学教授）	科学的根拠に基づいた効果的なNSTや栄養ケア・マネジメントの取り組みをめざし、科学的根拠の水準と研究方法の理解、科学的根拠の検索方法、論文を理解するための論文の構造や統計学の基本を学ぶ。	2時間	16:20~ 18:20
8月10日 (日) 9:30~ 18:20	経腸・静脈栄養法（静脈栄養） 【応用】	深柄和彦（東京大学医学部附属病院教授）	静脈栄養法についての基礎として、等張の輸液製剤、輸液の各種基本製剤、中心静脈栄養法（TPN）とその施行上の遵守項目、TPN管理の実際について、実際の電解質組成の計算等を学び、さらに、急性期入院患者の栄養障害への早期対応のための栄養スクリーニング・栄養アセスメントの基本について学ぶ。	4時間	9:30~ 12:30、 13:20~ 14:20
	栄養アセスメント・栄養ケア計画	梶井文子（東京慈恵会医科大学教授）	多職種による栄養ケア（エンド・オブ・ライフを含めて）について学ぶ。	2時間	14:20~ 16:20
	保健機能食品、病者用食品の検討（栄養機能食品、特別用途食品（病者用食品）、経腸栄養剤等の検討）	合田敏尚（静岡県立大学名誉教授・客員教授）	食品の選択・適性使用をめざし、栄養機能食品や病者用食品に関する制度、種類及び現行の課題について学ぶ。	2時間	16:20~ 18:20
8月11日 (月) 9:30~ 18:20	栄養アセスメント・栄養ケア計画：福祉基礎	田中和美（神奈川県立保健福祉大学教授）	地域包括ケアシステムにおけるNSTや栄養管理の位置づけを、医療・福祉政策等の最近の動向、低栄養とフレイル、生活保護、地域連携の視点から学ぶ。	2時間	9:30~ 11:30
	在宅栄養ケア・マネジメント（高齢者）	古賀奈保子（いばらき診療所）	在宅療養患者におけるアセスメント・モニタリング、栄養ケア計画作成を学ぶとともに、患者・家族との栄養・食事に関するコミュニケーションのあり方を学ぶ。	2時間	11:30~ 12:30、 13:20~ 14:20
	栄養アセスメント・栄養ケア計画：水電解質と輸液	三原法子（山形大学講師）	水・電解質と輸液の基礎を、具体的NSTの取り組み事例から学ぶ。	2時間	14:20~ 16:20
	経腸・静脈栄養法：NSTの実際と症例	工藤雄洋（済生会横浜市東部病院栄養部部長）	NSTの体制や取組みの実際とチームによる症例検討のあり方を学ぶ。	2時間	16:20~ 18:20
8月12日 (火) 9:30~ 16:20	栄養アセスメント・栄養ケア計画：症例検討	矢野目英樹（相澤病院栄養科科长）	NST等の症例検討を中心に、総合的な栄養問題の評価や栄養診断を活用した栄養ケア・マネジメントの展開を学ぶ。	2時間	9:30~ 11:30
	退院（所）計画・指導	高崎美幸（東葛クリニック病院医療技術部栄養ケア・ステーション課長）	NSTから退院までのチームによる栄養管理のあり方について、特に退院計画作成、退院支援及び退院指導を重視し、講義及び多職種による症例検討から学ぶ。	2時間	11:30~ 12:30、 13:20~ 14:20
	退院（所）計画・指導（経腸栄養）	大石朋子（湘南鎌倉医療大学准教授）	経腸栄養利用者の「食べることを支える」ための退院指導の多職種連携のあり方について、経口移行、経口維持のための嚥下スクリーニングや食事介助等の具体的な手法から学ぶ（看護職による講義）。	2時間	14:20~ 16:20

NST 4

	開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
5	8月17日 (日) 10:00~ 17:00	栄養教育(保健指導)	五味郁子(神奈川県立保健福祉大学教授)	特定健診・保健指導におけるプログラム、指導計画、コーチング、行動変容を上手に促すスキルについて学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		栄養教育(子育てと食支援)	堤ちはる(相模女子大学特任教授)	乳幼児期の栄養教育の基本を保護者支援も含めて学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
		栄養教育(生活習慣病:腎臓病)	鎌田由香(宮城学院女子大学教授)	生活習慣病(腎臓病)の栄養ケア・マネジメントの基本と、食べることを支援するために必要な教育に関する知識と技術について、事例(腎臓病)を通じて学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
6	8月23日 (土) 9:00~ 18:00	症例検討と発表(症例検討の基本)	高崎美幸(東葛クリニック病院医療技術部栄養ケア・ステーション課長)	入院・退院・在宅訪問と移行する症例を通じて症例検討のグループワーク。	2時間	9:00~ 11:00
		症例検討と発表(脳血管障害の症例検討)	星野郁子(美原記念病院栄養管理部課長)	脳血管障害の病態や摂食嚥下障害について理解し、症例検討と発表を行う。	2時間	11:00~ 12:00、 13:00~ 14:00
		症例検討と発表(がん患者に対する栄養管理の症例検討)	上島順子(NTT東日本関東病院栄養部)	がん患者における栄養管理と管理栄養士の役割を整理した後、症例検討と発表を行う。	2時間	14:00~ 16:00
		症例検討と発表(病院基礎 回復期リハビリテーション病棟への入院から退院まで)	新谷恵子(医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院栄養部課長)	回復期リハビリテーション病棟の特性、低栄養とサルコペニア、高次機能障害について学んだ後、入院から退院前調整までの症例検討と発表を行う。	2時間	16:00~ 18:00
7	9月6日 (土) 10:00~ 17:00	症例検討と発表(ICU等、周術期)	矢野目英樹(相澤病院栄養科科長)	ICU等入室患者の特性を踏まえた令和6年度診療報酬改定対応のための症例検討。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(脂質代謝異常の症例検討)	工藤雄洋(済生会横浜市東部病院栄養部部長)	脂質異常症の基本的理解を深め、その後症例検討と発表を行う。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(高齢者消化管)	野本尚子(千葉大学医学部附属病院栄養管理室長)	大学附属病院(特定機能病院)における栄養ケア体制と高齢の消化管術後症例の検討と討議、解説。	2時間	15:00~ 17:00
8	9月7日 (日) 10:00~ 17:00	栄養ケア・マネジメントと情報管理	宇田淳(滋慶医療科学大学大学院教授)	情報とは、エビデンスとは、統計のうそとは、伝える情報から伝わる情報へ、ITを使う、情報機器の未来(ロボットやICT、デジタルヘルス時代)、ITリテラシー等、栄養ケア・マネジメントに役立つ最新の情報管理を具体的な病院、地域医療での事例を通じて学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		栄養ケア・マネジメントの運営(継続的品質改善活動)	堤亮介(平成医療福祉グループ栄養部部長)	マネジメントにおける継続的品質改善活動の実際とその課題発表と討論について学ぶ。	2時間	13:00~ 15:00
		栄養教育(低栄養)	藤谷朝実(神奈川県立保健福祉大学地域貢献アドバイザー、済生会横浜市東部病院)	低栄養に対応して食べる楽しみを支援するための栄養相談について学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00

	開催日程	科目	講師	概要	時間数	時間帯
9	10月4日 (土) 10:00~ 17:00	栄養教育(小児・障害児者)	藤谷朝実(神奈川県立保健福祉大学地域貢献アドバイザー、済生会横浜市東部病院)	成長不良や代謝障害など小児期に特徴的な病児や障害がある方の栄養障害の特徴や栄養評価の基本を理解し、何らかの障害があってもその人なりの生き方を考えた栄養ケアや食支援について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(小児・障害児)	鳥井隆志(兵庫県立尼崎総合医療センター栄養管理部栄養管理課課長補佐)	疾患や障害を持つ小児期の症例を通して、小児期の栄養評価や栄養ケアのアウトカムの設定について理解する。	1時間	13:00~ 14:00
		症例検討と発表(障害者)	片岡陽子(川崎市南部地域療育センター)	障害者の症例を通して、障害者のケアについて理解し、栄養ケア実践にむけての多職種協働等についても理解を深める。	1時間	14:00~ 15:00
		地域栄養活動(自治体やボランティア活動団体との連携、異文化への対応のあり方)	野地有子(姫路大学大学院特任教授兼看護学部特任教授、千葉大学名誉教授)	地域の食事・栄養計画とボランティア活動との連携について、異文化や宗教的制限のある人たちへの栄養ケアへの理解を深める。	2時間	15:00~ 17:00
10	10月5日 (日) 10:00~ 17:00	集団の栄養評価と計画(研究法、論文の書き方の基礎)	遠又靖文(神奈川県立保健福祉大学准教授)	集団の栄養評価と計画について、疫学・統計学の活用について学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		集団の栄養評価と計画(論文の書き方)	西連地利己(獨協医科大学教授)	臨床栄養師認定論文の作成を目指した論文の書き方のコツの全てを学ぶ。論文作成や投稿の初心者、臨床栄養師論文試験の必須科目。投稿経験者も開眼する講義。	2時間	13:00~ 15:00
		集団の栄養評価と計画(実際の原著論文の読み方、文献検索方法)	多田由紀(東京農業大学准教授)	横断研究、追跡研究、介入研究など、実際の原著論文を事例として、論文に記載すべき事項や考察の展開の仕方など、論文の書き方を学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00
11	11月15日 (土) 10:00~ 17:00	栄養教育(循環器疾患)	宮島功(近森病院臨床栄養部部長)	循環器疾患の栄養管理・栄養教育(症例を含めて)最新の情報と実務のあり方を学ぶ。	2時間	10:00~ 12:00
		特別講義 糖尿病指導に必要な基礎知識	田中明(女子栄養大学名誉教授)	高齢者の糖尿病の栄養指導に関するエビデンスに関する講義と症例検討。	2時間	13:00~ 15:00
		症例検討と発表(糖尿病)	田中明(女子栄養大学名誉教授)、蒲池柱子(女子栄養大学教授)	女子栄養大学クリニックの教育研究の専門家が、糖尿病症例について管理栄養士と医師の立場から検討と討議を展開する。	2時間	15:00~ 17:00
12	11月16日 (日) 10:00~ 17:00	在宅栄養ケア・マネジメント	田中裕美子(社会医療研究所)・アドバイザー佐藤悦子(愛全診療所居宅療養管理指導)他	在宅訪問の体制づくりや実務のあり方について研修生と意見交換しながらアドバイスする。	2時間	10:00~ 12:00
		症例検討と発表(ターミナルケア)	谷中景子(千春会病院栄養科統括主任)	在宅訪問の症例検討のグループワーク。	2時間	13:00~ 15:00
		栄養教育(カウンセリング・コミュニケーション)	古賀奈保子(いばらき診療所)	訪問の実際を通じて、上手なカウンセリング・コミュニケーションについて学ぶ。	2時間	15:00~ 17:00

日本健康・栄養システム学会

令和7年度臨床栄養師認定講座、栄養サポートチーム研修講義日程表

(令和7年8月9日(土)～12日(火))

※栄養サポートチーム研修 医師(8月9日～10日)：色つきの部分のみ、10時間です。

※栄養サポートチーム研修 医師以外の職種の方(8月9日～12日)：30時間です。

時限	時間	科目名(担当者名)			
		令和7年 8/9(土)	8/10(日)	8/11(月)	8/12(火)
会場		WEBによる			
	9:20-9:30	オリエンテーション			
1	9:30-10:30 *	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養) 【基礎】 (加藤昌彦・3時間)	臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (静脈栄養) 【応用】 (深柄和彦・4時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (田中和美・2時間) 福祉基礎	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (矢野目英樹・2時間) 症例検討
2	10:30-11:30 *				
3	11:30-12:30 *				
4	13:20-14:20 *			臨/NST(医師含む) 経腸・静脈栄養法 (経腸栄養)【基礎】 (懸濁法等 薬剤との関係) (菅野浩・1時間)	臨/NST 在宅栄養ケア・ マネジメント (古賀奈保子・2時間) 高齢者在宅
5	14:20-15:20 *	臨/NST(医師含む) 倫理とチーム活動 (三浦公嗣・2時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (梶井文子・2時間)	臨/NST 栄養アセスメント・ 栄養ケア計画 (三原法子・2時間) 水電解質と輸液	臨/NST 退院(所)計画・指導 (経腸栄養) (大石朋子・2時間)
6	15:20-16:20 *				
7	16:20-17:20 *	臨/NST 科学的根拠に基づいた 栄養ケア・マネジメント 活動 (榎裕美・2時間)	臨/NST 保健機能食品、 病者用食品の検討 (合田敏尚・2時間)	臨/NST 経腸・静脈栄養法: NSTの実際と症例 (工藤雄洋・2時間)	
8	17:20-18:20 *				

* 講義時間について *

・各講義時間の最後の10分間は、「まとめ」の時間とします。

栄養サポートチーム研修：診療報酬栄養サポートチーム加算の施設基準である専従者及び専任者となる看護師、薬剤師、管理栄養士等を育成することを目的としております。

・医師は、2日間(8/9(土)9:30～16:20、8/10(日)9:30～14:20の10時間)です。

・医師以外の職種の方は、4日間(最終日は16:20まで、30時間)及び、臨床研修10時間です。臨床研修については、募集要項をご覧ください。

臨床栄養師研修カリキュラムにおける達成目標、実施、評価

	科目	集中講義(100 時間)	インターン研修(900 時間)		
		達成目標	達成目標	実施	評価
1	倫理とチーム活動	栄養ケア・マネジメントの実践活動のための倫理、チームに参画する専門職としての役割を理解し、説明できる。	栄養ケア・マネジメントの実践活動のための倫理、チームに参画する専門職としての役割を理解し、行動ができる。	患者の人格を尊重し、個人の秘密を遵守し監督下での業務活動を行う。 他職種とのコミュニケーションを積極的に行い、チームでの専門職としての役割を監督下で推進する。	レポート及び行動を評価する。
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	栄養ケア・マネジメントや栄養サポートチームに必要な情報倫理や情報技術活用の基礎を理解し、説明できる。	臨床栄養師に必要な情報倫理や情報技術活用の基礎を理解して活用できる。	施設内のITを活用したコミュニケーション、プレゼンテーションなどを監督下で行う。	レポート及び行動を評価する
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント活動	栄養ケア・マネジメントや栄養サポートチーム業務に必要な科学的論拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができる。	栄養ケア・マネジメント業務に必要な科学的論拠の信頼性のレベルや検索方法を理解し、根拠の収集と整理ができる。	業務活動に必要な科学論文を検索、整理し、その概要を監督者及び指導者に報告する。	レポート及び行動を評価する。
4	栄養ケア・マネジメントの運営－計画、評価、品質改善活動	【基礎】栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケア・マネジメント構築・運営について理解し、説明ができるための問題の分析と明確化、計画、評価、品質改善活動を理解し、説明ができる。	栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケア・マネジメント構築・運営のための問題の分析と明確化、計画、評価を理解し、栄養ケア・マネジメントに監督下で参画ができる。	研修の場における栄養ケア・マネジメントの手順に従い監督下での業務活動を行う。また、栄養ケア・マネジメントの運営上の問題を分析し解決法を提案、報告する。	レポート及び行動を評価する。
		【応用】事例を通じて栄養ケア・マネジメントの質の評価と継続的な品質改善活動について理解し、説明ができる。	監督下で栄養ケア・マネジメントの質の評価と継続的な品質改善活動ができる。	監督下で栄養ケア・マネジメントの評価に参加し、あるいは既存の評価報告に基づいて継続的な品質改善活動について報告する。	レポート及び行動を評価する。

5	栄養アセスメント・ 栄養ケア計画	<p>【基礎】栄養アセスメント、栄養ケア計画の基本を理解し、栄養障害例の抽出・栄養ケア計画票が作成でき、早期対応（スクリーニング法）ができる。提示された事例の栄養ケア計画票が記入できる。</p>	<p>基本的な症例について、指導を得ながら栄養障害例の抽出・栄養アセスメントから栄養ケア計画までの栄養ケア計画票を作成し、早期に対応する（各研修領域における研修初期に行うこと）。</p>	<p>基本的な1症例について、指導を得ながらスクリーニング、栄養アセスメントから栄養ケア計画までの栄養ケア計画票を作成する（各研修領域における研修初期に行うこと）。</p>	<p>基本的な栄養ケア計画票の作成過程を評価する。</p>
		<p>【応用】困難な課題を有する症例（重症疾患、複数の合併症、摂食・嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等）の栄養アセスメント、栄養ケア計画の基本を理解し、提示された事例の栄養ケア計画票が記入できる。</p>	<p>監督下でより困難症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画票が作成できる。</p>	<p>より困難な課題を有する症例について、指導を得ながら栄養アセスメントから栄養ケア計画までの栄養ケア計画票を作成する。</p>	<p>より困難な課題を有する症例に対応する栄養ケア計画票の作成過程を評価する。</p>
6	特定保健用食品・ 保健機能食品・病 者用食品の検討	<p>【基礎】特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品に関する科学的根拠を理解し、健康・栄養食品の適切な選択とその解説のための基本的事項を理解し、説明できる。</p>	<p>監督下で症例に見合った特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の適切な選択を行い、患者や専門職に説明できる。</p>	<p>監督下で症例に見合った適切な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の選択を行い、患者や他の専門職に説明できる。</p>	<p>選択の根拠及び行動を評価する。</p>
		<p>【応用】困難な症例に対しての効果的な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品に関する科学的根拠を理解し、健康・栄養食品の適切な選択とその解説について理解し、説明できる。</p>	<p>監督下で困難な症例に対しての効果的な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の適切な選択を行い、患者や専門職に説明できる。</p>	<p>監督下で困難な症例に対しての効果的な特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品などの健康・栄養食品の選択を行い、患者や他の専門職に説明できる。</p>	<p>選択の根拠及び行動を評価する。</p>

7	経腸・静脈栄養法	<p>【基礎】監督下で患者の経腸・静脈栄養法と栄養ケア計画を理解し、①栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、②経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、③経静脈輸液適正調剤法の取得④経静脈栄養のプランニングとモニタリング⑤経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導⑥経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング⑦簡易懸抱く濁法の実施と有用性の理解⑧栄養療法に関する合併症予防・発症時の対応⑨栄養療法に関する問題点・リスクの抽出⑩栄養管理についての患者・家族への説明・指導について説明ができる</p>	<p>監督下で患者2症例以上について経腸・静脈栄養管理の栄養ケア計画を作成し、栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、②経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、③経静脈輸液適正調剤法の取得④経静脈栄養のプランニングとモニタリング⑤経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導⑥経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング⑦簡易懸抱く濁法の実施と有用性の理解⑧栄養療法に関する合併症予防・発症時の対応⑨栄養療法に関する問題点・リスクの抽出⑩栄養管理についての患者・家族への説明・指導ができる。</p>	<p>監督下で患者2症例以上について経腸・静脈栄養管理の栄養ケア計画を作成し、栄養薬剤・栄養剤・食品の選択・適正使用法の指導、②経静脈栄養剤の側管投与方法・薬剤配合変化の指摘、③経静脈輸液適正調剤法の取得④経静脈栄養のプランニングとモニタリング⑤経腸栄養剤の衛生管理・適正調剤法の指導⑥経腸栄養・経口栄養のプランニングとモニタリング⑦簡易懸抱く濁法の実施と有用性の理解⑧栄養療法に関する合併症予防・発症時の対応⑨栄養療法に関する問題点・リスクの抽出⑩栄養管理についての患者・家族への説明・指導を実施する。</p>	<p>作成した栄養ケア計画票及びその経緯について面接及び行動を評価する。</p>
		<p>【応用】監督下で患者の経腸・静脈栄養法から経口移行のための栄養ケア計画を理解し説明できる。</p>	<p>監督下で症例についての経腸・静脈栄養法から経口移行計画を作成し、医師の指導のもとに実施できる。</p>	<p>監督下で症例について経腸・静脈栄養からの経口移行計画を作成し、医師の指導のもとに実施する。</p>	<p>作成した栄養ケア計画票及びその経緯について面接及び行動を評価する。</p>

8	栄養教育	<p>生活習慣病、低栄養患者(摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等)、介護予防、重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、アセスメント、計画作成ができるようになる。</p> <p>栄養教育の理論やモデル及び個別、グループ、集団の栄養教育の理論を理解し説明できるようになる。また、行動変容の困難事例やコミュニケーションの困難事例への対応を理解し説明できるようになる。</p>	<p>監督下で生活習慣病、低栄養患者(摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等)、介護予防、重症化予防・治療に対する栄養教育の基本を理解し、アセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングができる。また、栄養教育の理論やモデルを個別、グループ及び集団の栄養教育に活用して実施でき、行動変容やコミュニケーションの困難事例に対応した個別ならびにグループ教育を理解し実施できる。</p>	<p>監督下で生活習慣病、低栄養患者(摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等)の介護予防、重症化予防・治療に対する栄養教育のためのアセスメント、計画作成を行い、実施、チェック、モニタリングを実施する。また、栄養教育の理論やモデルを個別、グループ及び集団の栄養教育に活用して栄養教育を実施する。行動変容やコミュニケーションの困難事例に対応した個別ならびにグループ教育を理解し実施する。</p>	<p>生活習慣病、低栄養患者(摂食嚥下障害、認知症、エンド・オブ・ライフ等)、介護予防、重症化予防・治療の栄養教育のためのアセスメント、計画作成を2症例以上を行い、実施、チェック、モニタリングする。作成した栄養ケア計画票とその経緯についての面接及び取組み状況を評価する。</p>
9	症例検討と発表	<p>各疾患別の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表ができる。</p>	<p>各疾患別の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表ができる。</p>	<p>各疾患別の5症例以上の栄養アセスメント、栄養ケアに関する基礎的事項を理解し、症例の栄養アセスメント、栄養ケア計画、評価を監督下で実施し、症例検討や発表をする。</p>	<p>作成した栄養管理票とその経緯についての面接及び行動を評価する。</p>
10	退院(所)計画・指導	<p>食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者に対して退院計画を説明できる。</p>	<p>食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者に対して退院計画を説明できる。</p>	<p>食事・栄養に関する退院計画作成と患者の身体状況、栄養状態に合わせて地域サービス資源を紹介するための基礎的知識と手順を理解し、監督下で調整し、利用者1症例以上に対して退院計画を立案、説明する。</p>	<p>作成した退院計画票とその経緯についての面接及び行動を評価する。</p>

11	在宅栄養ケア・マネジメント	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施できる。	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施できる。	介護予防及び居宅患者への食事サービス資源を活用した栄養ケア・マネジメント活動を監督下で実施する。	レポート評価及び行動を評価する。
12	集団の栄養評価と計画	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養評価と栄養計画の作成・評価の基本的事項を理解し、説明できる。さらに、地域の事例を通じて臨床栄養師の実践活動について理解する。	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養状態の評価と栄養計画の作成・評価活動に参画できる。	地域、集団の健康増進、並びに生活習慣病と低栄養予防のための栄養状態の評価と栄養計画の作成・評価活動に監督下で参画する。	レポート評価及び行動を評価する。
13	地域栄養活動(自治体やボランティア活動団体との連携を含む)	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動との連携について理解し、説明できる。異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアについて理解し、説明できる。	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動と連携した計画や活動ができる。異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアや栄養食事指導計画を作成したり、監督下で説明ができる。	地域の食事・栄養計画と自治体やボランティア活動と連携した計画や活動をする。異文化や宗教的制限のある人達への栄養ケアや栄養食事指導計画を作成したり、監督下で説明する。	レポート評価及び行動を評価する。
14	制度と臨床栄養活動	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントについて理解し、説明ができる。栄養ケア・マネジメントに関する栄養関連の制度や制度化の過程を理解し、説明ができる。	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントとの関連、栄養ケア・マネジメントに関する栄養を中心とした制度との関連性を実践活動と対応させて理解し、現状の問題と将来展望について説明ができる。	医療、保健、福祉介護制度と栄養ケア・マネジメントとの関連、栄養ケア・マネジメントに関する栄養を中心とした制度との関連性を実践活動と対応させて理解し、現状の問題と将来展望について説明する。	レポート及び面接により評価する

15	給食経営管理	給食管理基準に適応し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項、手順並びにその効率化について理解し、説明ができる。 患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整について理解し、説明ができる。	給食管理基準に適応し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項と手順、並びにその効率化について実践活動と関連して理解し、説明ができる。 監督下で、患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整ができる。	給食管理基準に適応し、コスト、患者の満足感を考慮した給食経営管理の基本的事項と手順、並びにその効率化について実践活動と関連して理解し、説明する。 監督下で、患者の嗜好、身体状況、栄養状態に合わせた食事、食品、栄養剤の調整ができる。	レポート、面接、行動により評価する。
16	経営の基礎	栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進について理解し、説明ができる。 財務データの活用を理解し、説明ができる。 マーケティングの基礎を理解し、説明ができる。 人材資源管理の基礎を理解し、説明ができる。 施設管理の基礎を理解し、説明ができる。 診療報酬請求のための基本的事項を理解し、説明ができる。	栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進に監督下で参加できる。財務データの活用を理解し、監督下で実施できる。マーケティングの基礎を理解し、マーケティング活動に参加できる。人材資源管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明ができる。施設管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明ができる。診療報酬請求のための基本的事項を理解し、監督下で実施することができる。	栄養関連企業や病院経営事業のビジネス計画・推進に監督下で参加する。財務データ収集の活用を理解し、監督下で実施する。マーケティングの基礎を理解し、マーケティング活動に参加する。人材資源管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明する。施設管理の基礎を理解し、実践活動と関連して説明する。診療報酬請求のための基本的事項を理解し、監督下で実施する。	レポート、面接により評価する。
17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価のあり方などを理解し、説明ができる。	栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価を実施することができる。	栄養士教育(学生の臨地実習や栄養士などを対象)、自己の業績や経歴書の作成、自己開発のための生涯学習の計画・実施・自己評価を実施する。	レポート、面接により評価する
18	その他の臨床栄養師の養成に必要な科目	最新の臨床栄養、栄養ケア・マネジメントの知識、技術を習得する。	最新の臨床栄養、栄養ケア・マネジメントの知識、技術を習得する。	最新の臨床栄養、栄養ケア・マネジメントの知識、技術を臨床において活用できる。	レポート、行動により評価する。

令和7年度臨床栄養師研修施設一覧 (令和7年2月12日現在) 1/7

	施設名	都道府県
1	介護老人保健施設 憩	北海道
2	社会福祉法人函館愛会 共愛会病院	北海道
3	特定医療法人柏葉脳神経外科病院	北海道
4	医療法人溪仁会 定山溪病院	北海道
5	社会福祉法人 きたの愛光会 特別養護老人ホーム こもればの里	北海道
6	社会福祉法人 特別養護老人ホーム 芦別慈恵園	北海道
7	社会福祉法人溪仁会 介護老人福祉施設 月寒あさがおの郷	北海道
8	社会医療法人慈恵会 聖ヶ丘病院	北海道
9	社会福祉法人 美瑛慈光会 特別養護老人ホーム美瑛慈光園	北海道
10	奥尻町国民健康保険病院	北海道
11	医療法人社団 圭泉会 旭川圭泉会病院	北海道
12	医療法人社団 明生会 イムス札幌消化器中央総合病院	北海道
13	医療法人社団倭会 ミネルバ病院	北海道
14	医療法人社団志恩会 相川記念病院	北海道
15	医療法人社団 稲仁会 旭川脳神経外科循環器内科病院	北海道
16	社会医療法人 北斗 北斗病院	北海道
17	名寄市立総合病院	北海道
18	公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院	北海道
19	釧路赤十字病院	北海道
20	医療法人社団 北札幌病院	北海道
21	財団法人医療と育成のための研究所 清明会 弘前中央病院	青森県
22	医療法人 平成会 八戸平和病院	青森県
23	医療法人ときわ会 ときわ会病院	青森県
24	医療法人 弘仁会 於本病院	青森県
25	医療法人社団 帰厚堂 南昌病院	岩手県
26	医療法人 遠山病院	岩手県
27	盛岡市立病院	岩手県
28	社団医療法人康生会 鶯宿温泉病院	岩手県
29	町立西和賀さわうち病院	岩手県
30	一般財団法人 みちのく愛隣協会 東八幡平病院	岩手県
31	特定医療法人 清和会 奥州病院	岩手県
32	医療法人永仁会 永仁会病院	宮城県
33	特別養護老人ホーム いなほの里	宮城県
34	仙台赤十字病院	宮城県
35	特定非営利活動法人ハッピーート大崎	宮城県
36	一般社団法人 みやぎ保健企画 セントラルキッチン事業部	宮城県
37	医療法人惇慧会 外旭川病院	秋田県
38	一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院	福島県
39	医療法人五光会 福島寿光会病院	福島県
40	医療法人博仁会 志村大宮病院	茨城県
41	筑波大学附属病院	茨城県
42	公益財団法人 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院	茨城県
43	医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院	茨城県
44	恩賜財団 済生会支部 茨城県済生会 常陸大宮済生会病院	茨城県
45	社会福祉法人 白十字会 白十字総合病院	茨城県
46	医療法人 美湖会 美浦中央病院	茨城県
47	医療法人卓和会 藤井脳神経外科病院	栃木県
48	一般社団法人 巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院	栃木県
49	社会医療法人財団 佐野メディカルセンター 佐野市民病院	栃木県
50	公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院	群馬県
51	社会福祉法人 民善会 特別養護老人ホーム 妙義	群馬県
52	公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース	群馬県

令和7年度臨床栄養師研修施設一覧 (令和7年2月12日現在) 2/7

	施設名	都道府県
53	医療法人社団 醫光会 駒井病院	群馬県
54	医療法人 大誠会 内田病院	群馬県
55	医療法人社団富家会 富家病院	埼玉県
56	医療法人 真正会 霞ヶ関南病院	埼玉県
57	医療法人財団 新生会 大宮共立病院	埼玉県
58	医療法人本庄福島病院 本庄総合病院	埼玉県
59	医療法人社団 宗仁会 武蔵野病院	埼玉県
60	医療法人一晃会 小林病院	埼玉県
61	医療法人社団 和風会 所沢中央病院	埼玉県
62	社会福祉法人 シナプス 埼玉精神神経センター	埼玉県
63	医療法人 豊岡整形外科病院	埼玉県
64	医療法人慈正会 丸山記念総合病院	埼玉県
65	特定医療法人財団松園会 東葛クリニック病院	千葉県
66	千葉大学医学部附属病院	千葉県
67	社会福祉法人 六高台福祉会 特別養護老人ホーム 松寿園	千葉県
68	特別養護老人ホーム ローゼンヴィラ藤原	千葉県
69	社会福祉法人永春会 特別養護老人ホーム秋桜	千葉県
70	特別養護老人ホーム まんさくの里	千葉県
71	特別養護老人ホーム ひまわりの丘	千葉県
72	社会福祉法人 貴陽福祉会 特別養護老人ホーム 南花園	千葉県
73	社会福祉法人 高木福祉会 特別養護老人ホーム あすなろ	千葉県
74	医療法人社団 誠馨会 総泉病院	千葉県
75	医療法人社団ふけ会 富家千葉病院	千葉県
76	社会福祉法人愛生会 特別養護老人ホーム 愛生苑	千葉県
77	社会福祉法人貴陽福祉会 特別養護老人ホーム 第二南花園	千葉県
78	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院	千葉県
79	公益財団法人 日産厚生会 佐倉厚生園病院	千葉県
80	社会福祉法人 美野里会 特別養護老人ホーム 輝陽園	千葉県
81	医療法人社団 天宣会 北柏リハビリ総合病院・北柏ナーシングケアセンター	千葉県
82	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター	千葉県
83	医療法人社団幸有会 幸有会記念病院	千葉県
84	医療法人社団 圭春会 小張総合病院	千葉県
85	医療法人白百合 大多喜病院	千葉県
86	東京大学医学部附属病院	東京都
87	社会福祉法人 同胞互助会 特別養護老人ホーム愛全園	東京都
88	森山ケアセンター介護老人保健施設	東京都
89	医療法人社団永生会 永生病院	東京都
90	社会福祉法人 清遊の家 特別養護老人ホーム すずうらホーム	東京都
91	JCHO 東京新宿メディカルセンター	東京都
92	医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院	東京都
93	複十字病院	東京都
94	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院	東京都
95	医療法人 平成博愛会 世田谷記念病院	東京都
96	医療法人財団 敬寿会 相武病院	東京都
97	医療法人社団 大和会 多摩川病院	東京都
98	財団法人 多摩緑成会 緑成会病院	東京都
99	特定医療法人社団愛有会 三愛病院	東京都
100	医療法人財団利定会 大久野病院	東京都
101	高野病院	東京都
102	医療法人社団 森山医会 森山記念病院	東京都
103	医療法人社団 竹口病院	東京都
104	医療法人社団 杏精会 岡田病院	東京都

令和7年度臨床栄養師研修施設一覧 (令和7年2月12日現在) 3/7

	施設名	都道府県
105	公益財団法人 榊原記念財団 附属榊原記念病院	東京都
106	医療社団法人永生会 南多摩病院	東京都
107	医療法人社団久遠会 みずほ病院	東京都
108	医療法人財団 興和会 右田病院	東京都
109	医療法人社団倭林会 武蔵野台病院	東京都
110	医療法人社団 龍岡会 龍岡介護老人保健施設	東京都
111	医療法人社団 龍岡会 千壽介護老人保健施設	東京都
112	医療法人財団慈光会 堀切中央病院	東京都
113	社会福祉法人 道心会 介護老人福祉施設 ケアホーム足立	東京都
114	医療法人社団仁泉会 としま昭和病院	東京都
115	医療法人社団葵会 AOI八王子病院	東京都
116	医療法人社団 成仁 成仁病院	東京都
117	SOMPOケア株式会社	東京都
118	医療法人社団好仁会 滝山病院	東京都
119	稲城市立病院	東京都
120	学校法人日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック	東京都
121	医療法人永寿会 恩方病院	東京都
122	医療法人 三医会 鶴川記念病院	東京都
123	社会福祉法人 三幸福社会 特別養護老人ホーム 癒しの里 南千住	東京都
124	医療法人社団野村会 昭和の杜病院	東京都
125	医療法人 永寿会 陵北病院・介護医療院 陵北病院	東京都
126	医療法人社団 下田緑真会 世田谷北部病院	東京都
127	小田原市立病院	神奈川県
128	医療法人三喜会 鶴巻温泉病院	神奈川県
129	公益財団法人積善会 曾我病院	神奈川県
130	社会福祉法人春日会 特別養護老人ホーム等々力	神奈川県
131	医療法人社団 愛優会 介護老人保健施設 老健リハビリよこはま	神奈川県
132	恩賜財団 済生会 横浜市東部病院	神奈川県
133	社会福祉法人親善福祉協会 介護老人保健施設 リハパーク舞岡	神奈川県
134	医療法人鉄蕉会 亀田森の里病院	神奈川県
135	社会福祉麗寿会 特別養護老人ホームふれあいの森	神奈川県
136	特別養護老人ホーム 陽のあたる丘MISONO	神奈川県
137	医療法人社団 育成会 鹿島田病院	神奈川県
138	医療法人 陽風会 高台病院	神奈川県
139	医療法人社団 鴨居病院	神奈川県
140	公益社団法人 地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	神奈川県
141	社会福祉法人 龍岡会 青葉ヒルズ	神奈川県
142	医療法人社団三栄会 中央林間病院	神奈川県
143	社会福祉法人 日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院	神奈川県
144	医療法人伊純会 介護老人保健施設スカイ	神奈川県
145	医療法人花咲会 介護老人保健施設レストア横浜	神奈川県
146	社会医療法人財団互惠会 大船中央病院	神奈川県
147	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター	神奈川県
148	医療法人社団恵生会 上白根病院	神奈川県
149	川崎市立 井田病院	神奈川県
150	川崎市立川崎病院	神奈川県
151	医療法人 光陽会 磯子中央病院	神奈川県
152	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	神奈川県
153	医療法人社団 福寿会 愛川北部病院	神奈川県
154	医療法人徳洲会 湘南厚木病院	神奈川県
155	医療法人ディープレインテンション 日吉心療所	神奈川県
156	独立行政法人 地域医療機能推進機構 相模野病院	神奈川県

令和7年度臨床栄養師研修施設一覧 (令和7年2月12日現在) 4/7

	施設名	都道府県
157	一般財団法人 同友会 藤沢湘南台病院	神奈川県
158	医療法人社団プラタナス 鎌倉アーバンクリニック	神奈川県
159	医療法人財団青山会 福井記念病院	神奈川県
160	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院	神奈川県
161	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 れいんぼう川崎	神奈川県
162	茅ヶ崎市立病院	神奈川県
163	独立行政法人 国立病院機構 さいがた医療センター	新潟県
164	医療法人財団恵仁会 藤木病院	富山県
165	医療法人社団 紫蘭会 光ヶ丘病院	富山県
166	医療法人社団 双星会 みなみの星病院	富山県
167	医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院	石川県
168	医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院	石川県
169	介護老人保健施設 大津ケアセンター	山梨県
170	介護老人福祉施設 敷島荘	山梨県
171	介護老人福祉施設 恵信ロジェ山梨	山梨県
172	社会福祉法人さくら会 特別養護老人ホーム 風林荘	山梨県
173	医療法人仁和会 竜王リハビリテーション病院	山梨県
174	医療法人 慶友会 城東病院	山梨県
175	公益財団法人 山梨厚生会 山梨厚生病院	山梨県
176	医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院	山梨県
177	JA長野厚生連佐久総合病院	長野県
178	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	長野県
179	医療法人 心泉会 上條記念病院/上條記念病院 介護医療院	長野県
180	市立大町総合病院	長野県
181	特定医療法人丸山会 丸子中央病院・介護医療院ケアあおぞら	長野県
182	佐久穂町立千曲病院	長野県
183	独立行政法人 地域医療機能推進機構 可児とうのう病院	岐阜県
184	医療法人香徳会 関中央病院	岐阜県
185	医療法人 白水会 白川病院	岐阜県
186	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷浜松病院	静岡県
187	医療法人社団駿甲会 介護老人保健施設 コミュニティーケア高草	静岡県
188	医療法人社団宏和会 岡村記念病院	静岡県
189	医療法人社団八洲会 はいなん吉田病院	静岡県
190	医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院	静岡県
191	藤枝市立総合病院	静岡県
192	医療法人社団八洲会 袋井みつかわ病院	静岡県
193	医療法人社団 八洲会 誠和藤枝病院	静岡県
194	医療法人 弘遠会 天竜すずかけ病院	静岡県
195	公益社団法人 有隣厚生会 富士小山病院	静岡県
196	公益社団法人 地域医療振興協会 伊東市民病院	静岡県
197	社会福祉法人梓友会 介護老人福祉施設 エクレシア南伊豆	静岡県
198	社会福祉法人聖霊会 聖霊病院	愛知県
199	小牧市民病院	愛知県
200	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	愛知県
201	医療法人三九会 三九朗病院	愛知県
202	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	愛知県
203	医療法人社団喜峰会 東海記念病院	愛知県
204	医療法人北辰会 蒲郡厚生館病院	愛知県
205	医療法人 宏和会 やまぐち病院	愛知県
206	医療法人 杏園会 熱田リハビリテーション病院	愛知県
207	医療法人 尾張健友会 千秋病院	愛知県
208	医療法人 愛生館 小林記念病院	愛知県

令和7年度臨床栄養師研修施設一覧 (令和7年2月12日現在) 5/7

	施設名	都道府県
209	医療法人 陽和会 春日井リハビリテーション病院	愛知県
210	医療法人 純正会 小牧第一病院	愛知県
211	医療法人豊岡会 豊橋元町病院	愛知県
212	医療法人仁医会 あいちリハビリテーション病院	愛知県
213	みなと医療生活協同組合 協立総合病院	愛知県
214	医療法人有俊会 いまむら病院	愛知県
215	医療法人 成精会 刈谷病院	愛知県
216	医療法人 豊田会 刈谷豊田東病院	愛知県
217	医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター	愛知県
218	東海国立大学機構名古屋大学 名古屋大学医学部附属病院	愛知県
219	医療法人寿康会 大府病院	愛知県
220	特別養護老人ホーム 豊野みかんの里	三重県
221	玉城町国民健康保険 玉城病院	三重県
222	滋賀県立総合病院	滋賀県
223	医療法人良善会 ひかり病院	滋賀県
224	財団法人仁風会 嵯峨野病院	京都府
225	医療法人社団 千春会 千春会病院	京都府
226	一般財団法人 仁風会 京都南西病院	京都府
227	医療法人社団 医聖会 八幡中央病院	京都府
228	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	京都府
229	社会医療法人若弘会 若草第一病院	大阪府
230	社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院	大阪府
231	独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター	大阪府
232	社会医療法人美杉会 佐藤病院	大阪府
233	医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院	大阪府
234	医療法人協仁会 小松病院	大阪府
235	在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院	大阪府
236	医療法人 康生会 泉佐野優人会病院	大阪府
237	医療法人康生会 豊中平成病院	大阪府
238	医療法人 康生会 弥刀中央病院	大阪府
239	社会医療法人 景岳会 南大阪病院	大阪府
240	医療法人以和貴会 北条病院	大阪府
241	医療法人錦秀会 阪和病院	大阪府
242	医療法人 篤友会 坂本病院	大阪府
243	社会医療法人弘道会 守口生野記念病院	大阪府
244	医療法人 錦秀会 阪和第一泉北病院	大阪府
245	医療法人 錦秀会 阪和第二泉北病院	大阪府
246	照葉の里 箕面病院	大阪府
247	医療法人 清仁会 水無瀬病院	大阪府
248	医療法人 祥佑会 藤田胃腸科病院	大阪府
249	医療法人 杏和会 阪南病院	大阪府
250	医療法人 光愛会 光愛病院	大阪府
251	社会医療法人北斗会 さわ病院・ほくとクリニック病院	大阪府
252	社会医療法人信愛会 曙生会脳神経外科病院	大阪府
253	社会医療法人 ONE FLAG 牧病院	大阪府
254	社会医療法人純幸会 関西メディカル病院	大阪府
255	医療法人協和会 千里中央病院	大阪府
256	医療法人 穂翔会 村田病院	大阪府
257	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院	大阪府
258	社会医療法人有隣会 東大阪病院	大阪府
259	特別養護老人ホーム 栗栖の荘	兵庫県
260	医療法人社団 淡路平成会 平成病院	兵庫県

令和7年度臨床栄養師研修施設一覧（令和7年2月12日現在） 6/7

	施設名	都道府県
261	社会福祉法人 青葉福祉会 介護老人福祉施設 松寿園	兵庫県
262	医療法人社団 南淡千遥会 南淡路病院	兵庫県
263	医療法人社団 淡路平成会 東浦平成病院	兵庫県
264	医療法人社団 魚橋会 魚橋病院	兵庫県
265	医療法人社団 十善会 野瀬病院	兵庫県
266	医療法人財団清良会 書写病院	兵庫県
267	社会福祉法人 敬寿記念会 特別養護老人ホーム ふれあいの郷「もくせい」	兵庫県
268	医療法人社団みどりの会 酒井病院	兵庫県
269	医療法人社団 智聖会 安藤病院	兵庫県
270	社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院	兵庫県
271	兵庫県立こども病院	兵庫県
272	医療法人晴風園 伊丹せいふう病院	兵庫県
273	独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院	兵庫県
274	医療法人 川崎病院	兵庫県
275	医療法人社団 五仁会 住吉川病院	兵庫県
276	社会医療法人社団正峰会 大山記念病院	兵庫県
277	医療法人社団 清和会 笹生病院	兵庫県
278	医療法人社団光風会 長久病院	兵庫県
279	医療法人鴻池会 秋津鴻池病院	奈良県
280	特定医療法人 養和会 養和病院	鳥取県
281	社会医療法人 仁厚会 医療福祉センター倉吉病院	鳥取県
282	社会医療法人 昌林会 安来第一病院	島根県
283	社会福祉法人 岡山博愛会 岡山博愛会病院	岡山県
284	医療法人紅萌会 福山記念病院	広島県
285	医療法人仁康会 小泉病院	広島県
286	医療法人社団青藍会 介護老人保健施設 ハートホーム山口 有床診療所 あんの循環器内科	山口県
287	医療法人山口平成会 山口平成病院	山口県
288	医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院	山口県
289	小野田赤十字病院	山口県
290	社会福祉法人高森福祉会 特別養護老人ホーム玖珂苑	山口県
291	社会医療法人 社会福祉法人 松涛会(社会医療法人松涛会 安岡病院・社会福祉法人 特別養護老人ホーム はまゆう苑)	山口県
292	医療法人平成博愛会 博愛記念病院	徳島県
293	医療法人 久仁会 鳴門山上病院	徳島県
294	医療法人 いちえ会 伊月病院	徳島県
295	社会医療法人川島会 川島病院	徳島県
296	医療法人 松風会 江藤病院	徳島県
297	徳島県厚生農業協同組合連合会 阿南医療センター	徳島県
298	三豊市立 みとよ市民病院	香川県
299	医療法人友朋会 栗林病院	愛媛県
300	医療法人 健康会 介護老人保健施設アイリス	愛媛県
301	社会医療法人 石川記念会 HITO病院	愛媛県
302	医療法人近森会 近森病院	高知県
303	医療法人 高幡会 大西病院	高知県
304	医療法人 産研会 上町病院	高知県
305	医療法人 野並会 高知病院	高知県
306	医療法人社団若鮎 北島病院	高知県
307	独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院	福岡県
308	医療法人 南溟会 博愛介護医療院	福岡県
309	医療法人泯江堂 三野原病院 介護老人保健施設 ささぐり泯江苑	福岡県

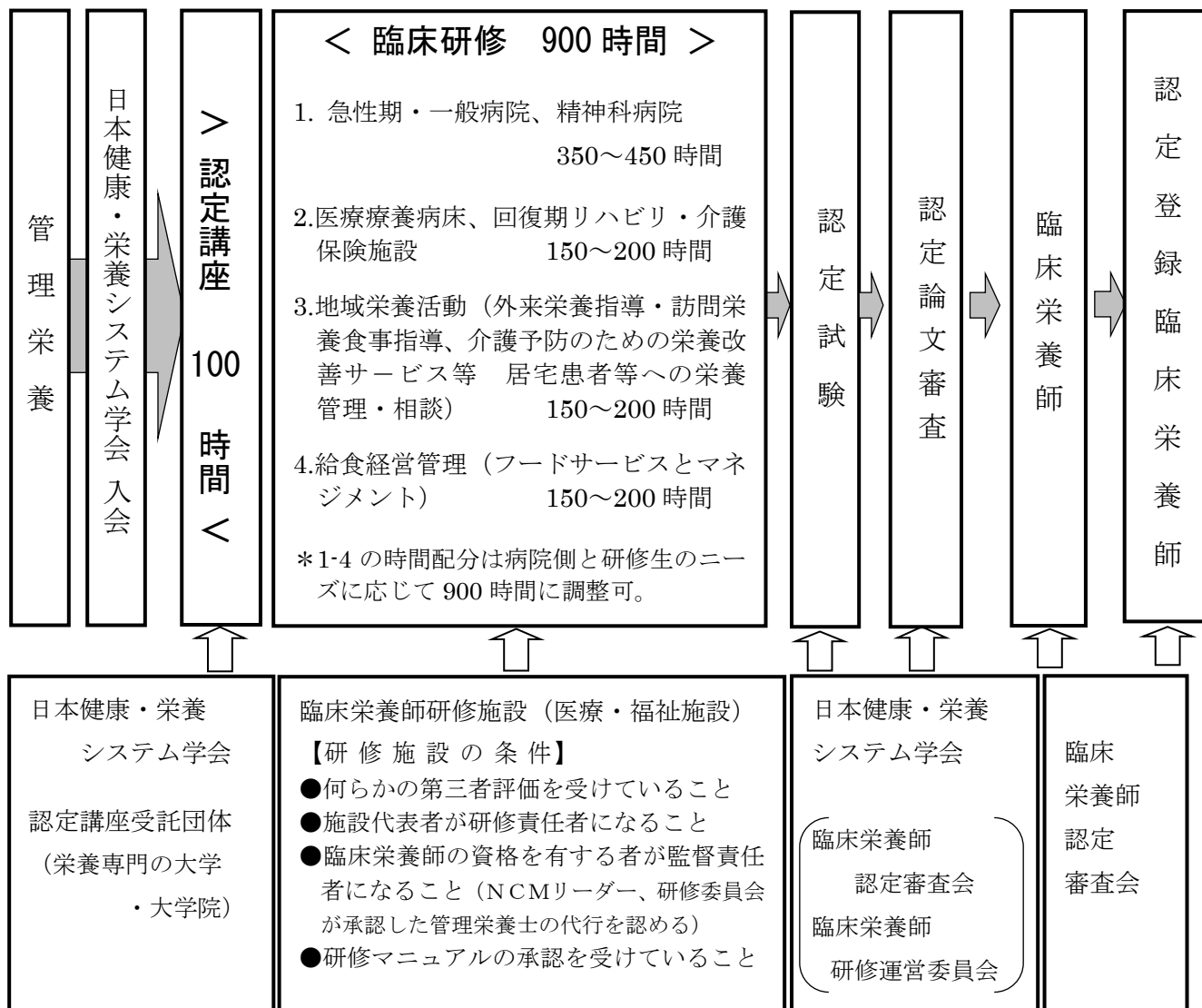
令和7年度臨床栄養師研修施設一覧（令和7年2月12日現在） 7/7

	施設名	都道府県
310	独立行政法人国立病院機構 九州医療センター	福岡県
311	医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院	福岡県
312	医療法人共和会 介護老人保健施設 伸寿苑	福岡県
313	社会医療法人社団 至誠会 木村病院	福岡県
314	社会医療法人 北九州病院 北九州若杉病院	福岡県
315	医療法人浜江堂 三野原病院	福岡県
316	社会福祉法人 高邦福祉会 柳川療育センター	福岡県
317	医療法人相生会 福岡みらい病院	福岡県
318	医療法人和仁会 東福岡和仁会病院	福岡県
319	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学医科歯科総合病院	福岡県
320	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	佐賀県
321	医療法人 公和会 横須賀病院	佐賀県
322	社会医療法人 祐愛会 織田病院	佐賀県
323	医療法人聖医会 藤川病院	佐賀県
324	医療法人 光晴会病院	長崎県
325	医療法人 厚生会 道ノ尾病院	長崎県
326	寿量会 熊本機能病院	熊本県
327	国保水俣市立総合医療センター	熊本県
328	社会福祉法人寿量会 特別養護老人ホーム 天寿園	熊本県
329	医療法人財団 聖十字会 西日本病院	熊本県
330	医療法人社団 鶴友会 鶴田病院	熊本県
331	社会医療法人 令和会 熊本整形外科病院	熊本県
332	医療法人社団誠療会 成尾整形外科病院	熊本県
333	医療法人社団坂梨会 阿蘇温泉病院・介護老人保健施設 愛・ライフ内牧	熊本県
334	特別養護老人ホーム 宇水園	大分県
335	一般社団法人 竹田医師会病院	大分県
336	指定介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム 鹿屋長寿園	鹿児島県
337	医療法人 美崎会 国分中央病院	鹿児島県
338	社会医療法人博愛会 相良病院	鹿児島県
339	医療法人義貫会 中島病院	鹿児島県
340	医療法人愛人会 川島病院	鹿児島県
341	医療法人健康会 霧島記念病院	鹿児島県
342	医療法人同潤会 永井病院	鹿児島県
343	社会医療法人 緑泉会 米盛病院	鹿児島県
344	医療法人ちゅうざん会 ちゅうざん病院	沖縄県
345	特別養護老人ホーム ありあけの里	沖縄県
346	社会医療法人友愛会 友愛医療センター	沖縄県

※施設の特性など詳細は、各施設のホームページなどにてご確認ください。また、ご希望の方には、研修申込み後にお知らせいたします。

臨床栄養師養成の概要図

← 認定研修 →



認定講座					
1	倫理とチーム活動	2時間	10	退院(所)計画・指導	4時間
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理	2時間	11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営	4時間
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント	2時間	12	集団の栄養評価と計画	6時間
			13	地域栄養活動	2時間
4	栄養ケア・マネジメントの運営	6時間	14	制度と臨床栄養活動	2時間
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画	8時間	15	給食経営管理	4時間
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品	2時間	16	経営の基礎	8時間
			17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2時間
7	経腸・静脈栄養法	10時間	18	その他の臨床栄養師の養成に必要な科目	2時間
8	栄養教育	14時間	合計		100時間
9	症例検討と発表	20時間			

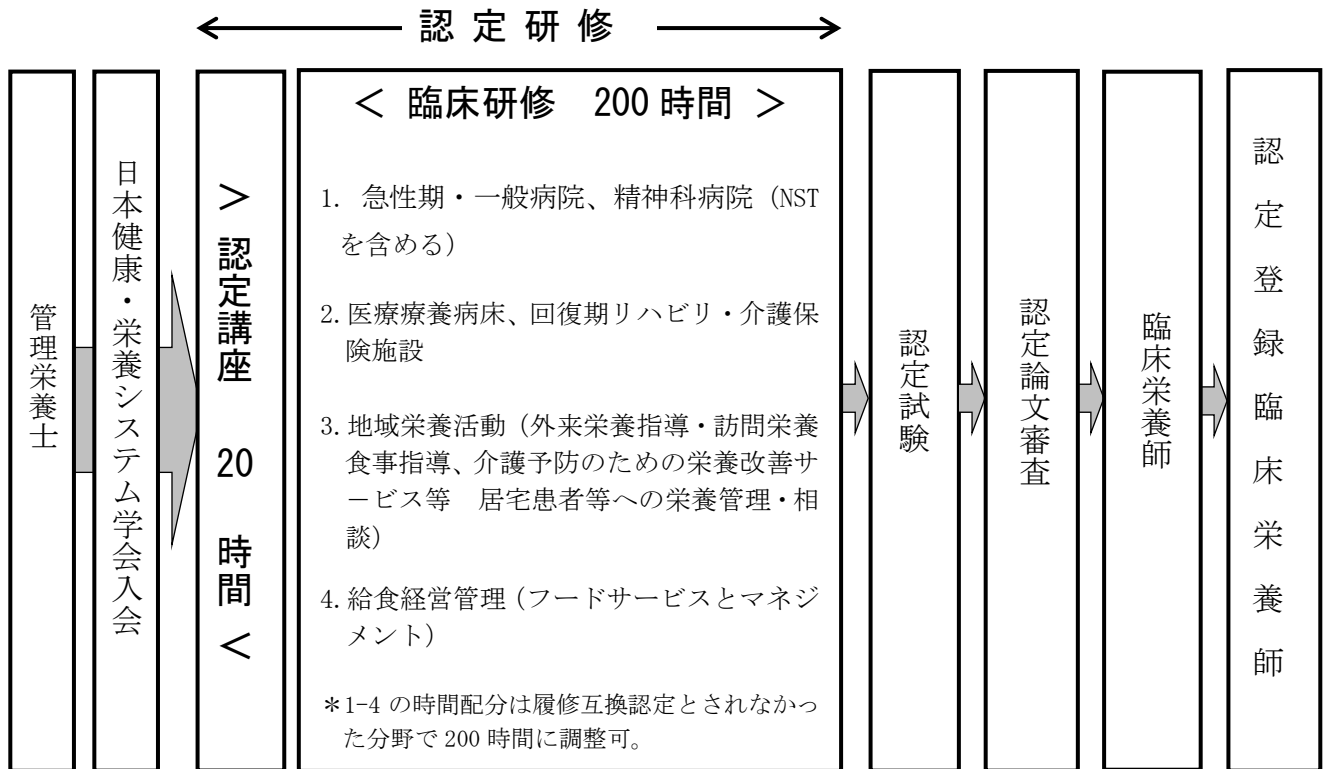
認定講座、臨床研修の履修互換については、臨床栄養師認定研修履修互換細則による。

臨床栄養師研修施設勤続者の場合

認定講座 80 時間 臨床研修 700 時間を履修互換認定とする

臨床栄養師認定研修履修互換認定細則より

臨床栄養師養成の概要図



認定講座の履修必要科目（臨床栄養師研修施設勤続者）

認 定 講 座					
1	倫理とチーム活動		10	退院(所)計画・指導	
2	栄養ケア・マネジメントと情報管理		11	在宅栄養ケア・マネジメントの運営	4 時間
3	科学的論拠に基づいた栄養ケア・マネジメント		12	集団の栄養評価と計画	2 時間
			13	地域栄養活動	2 時間
4	栄養ケア・マネジメントの運営	2 時間	14	制度と臨床栄養活動	
5	栄養アセスメント・栄養ケア計画		15	給食経営管理	
6	特定保健用食品・保健機能食品・病者用食品		16	経営の基礎	2 時間
			17	人材教育と自己研鑽、生涯学習	2 時間
7	経腸・静脈栄養法		18	その他の臨床栄養師の養成に必要な科目	2 時間
8	栄養教育		合 計		20 時間
9	症例検討と発表	4 時間			

日本健康・栄養システム学会 個人情報の取扱方針

日本健康・栄養システム学会では、個人情報の収集、利用および提供、管理、破棄について、次のように取り扱います。

* 個人情報とは

個人情報とは、個人に関する情報であり、氏名、生年月日その他、特定の個人を識別することができるものをいいます。個人の身体、財産、社会的地位、身分などの属性に関する情報であっても、氏名等と一体となって特定の個人を識別できるものは、個人情報にあたります。また、他の情報と照合することで個人の識別が可能となる場合も個人情報にあたります。

* 収集の制限

個人情報を収集するにあたっては、目的を明確にした上で、必要な範囲内で行うこととします。

* 利用および提供の制限

個人情報は、取り扱い目的の範囲内で利用または提供します。法令等の規定に基づく場合や本人の同意がある場合を除き、取り扱い目的以外の目的に利用したり第三者に提供したりすることはありません。

* 個人情報の管理および廃棄

収集した個人情報については、厳重に管理し、漏えい、改ざん等の防止に努めます。

保存する必要のなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。

* 取り扱い方針の改善

個人情報の取扱方針に関して、適宜、内容を見直し改善していきます。

(臨床栄養師資格認定・登録に係る個人情報の取り扱いについて)

臨床栄養師資格認定・登録に関する志願者、受講希望者から収集した個人情報について、次のように取り扱います。

区分	収集した個人情報の取り扱い
臨床栄養師資格認定・登録の手続きをした場合	資格認定者登録簿作成に引き続き利用します。
選考に不合格となった場合	3年間保存後、破棄します。

認定講座・臨床研修 願書提出について(臨床栄養師研修)

* 出願前に当学会の入会が必要です。

(入会手続きは、学会ホームページ参照 <http://www.j-ncm.com/>
もしくは右の画像を読み取ってお手続きください。)



出願受付 随時受付。

提出書類

様式を要項から外して記入の上、以下の順番にし、1～7はまとめてクリップ留めする。

1. 認定講座申込書(願書)
※臨床栄養師研修の申込書を兼ねているため、認定講座の受講がない方も必ず提出して下さい。
2. 個人経歴・業績書
3. 個人番号カード(表面を複写したもの)(個人番号カードがない場合は、免許証、パスポート等、写真がある身分証明書を複写したもの)
4. 臨床栄養師認定研修履修互換認定申請書(履修互換認定申請の場合のみ)
5. 履修互換認定を証明する書類(履修互換認定申請の場合のみ)
6. 臨床研修施設履修希望票(今年度臨床研修の実施を希望する場合のみ)
7. 研修施設提出用履歴書(市販等・フォーマット自由。希望施設数分)

※認定講座を受講する場合には、各回5日前まで(土日祝日除く、NST研修同時開催部分は7月7日まで)に申込フォームよりお申込み下さい。<https://forms.gle/mZieC9H8hAh9XCrdA>



書類送付先 *簡易書留で郵送にて提出

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町1-10-1 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科内
一般社団法人 日本健康・栄養システム学会 研修担当事務 加納亜紀子

費用振込先 *願書提出までに振込。入金も確認してから研修申込完了となります。

郵便振込 00190-9-408852 口座名義：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
銀行からの振込 ゆうちょ銀行 ○一九支店 当座預金 0408852

*通信欄に「認定講座」と記入願います。

認定講座費用

受講料 88,000 円、テキスト代 33,000 円、計 121,000 円

- *右の方は 39,600 円 ・大学院生、大学院生であった方
- ・神奈川県立保健福祉大学実践教育センター栄養ケアマネジメント課程修了者
- ・宮城学院女子大学大学院「職業実践力育成プログラム」受講者

*本学会 NST 研修修了者は 77,000 円

※臨床研修費用は、臨床研修が全て終了してから、一括でお振込み下さい。

お問合せ先

会計：担当 駒形公大 mail : jimukyoku@j-ncm.com

出願、研修：担当 加納亜紀子 mail : ncm.kanou@gmail.com 、 TEL : 080-3936-8590

臨床栄養師資格認定・登録にかかる費用一覧

	料金の種別	料 金	実践教育センター修了者*3、大学院生*4、 宮城学院女子大学大学院「職業実践力育 成プログラム」受講者
学 会*	入会費 年会費	5,500円 8,000円	5,500円 8,000円
認定講座	受講料*1 テキスト代*1	88,000円 33,000円	17,600円 22,000円
臨床研修	臨床研修料*2	220円×研修時間 +手数料 11,000円	220円×研修時間+手数料 11,000円
認定試験 (年1回)	受験料	14,000円	14,000円
認定論文 審査	論文指導料 論文審査料	5,500円 16,500円	5,500円 16,500円
資格登録	認定登録料 (章含む)	55,000円	55,000円
登録更新	登録更新料	5,500円	5,500円
資格取得後 継続研修	継続研修料	1,500円/時間	1,500円/時間
証票	証票交付料 再交付料	16,500円 16,500円	16,500円 16,500円
章	章再交付料	16,500円	16,500円
認定講座 公開(会員)	受講料、 テキスト代	1,500円/時間	1,500円/時間
認定講座 公開(非会員)	受講料、 テキスト代	2,000円/時間	2,000円/時間

* 臨床栄養師研修には学会の入会が必須なので、別途入会費 5,500 円、年会費 8,000 円が必要です。

*1 本学会 NST 研修修了者は、受講料とテキスト代で 77,000 円となります。

*2 研修施設によっては、施設の規定により、別途差額料金が必要になる施設があります。

(東京大学医学部附属病院:病院の規定により 1 日 5,500 円。鶴巻温泉病院:別途個人負担あり)

また、臨床研修費は、臨床研修が全て終了してから一括でお支払いをお願いします。

症例検討指導費用は、1 症例(臨床研修 20 時間に相当)×4,400 円です。

*3 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター栄養ケア・マネジメント課程修了者

*4 大学院生であった方も含む。

その他研修にかかる費用一覧

	料 金	備 考
栄養サポートチーム研修 (医師以外)	55,000円	講座30時間、テキスト代、臨床研修 10時間、マッチング費用を含める
栄養サポートチーム研修 (医師)	22,000円	講座10時間、テキスト代費用を含める

臨床栄養師認定講座申込書(願書)

受講番号			
認定講座の種別	1. 学会主催 2. 認定講座受託団体主催		(写真貼付) 上半身 4 × 3 cm
フリガナ			
氏名			
生年月日	(西暦) _____年__月__日生まれ () 歳		
自宅住所	〒 _____		
TEL		FAX	
勤務先住所、 名称	〒 _____ (名称)	部署	
TEL		FAX	
最終学歴		メールアドレス	
公的資格			

認定講座の受講希望者は、上段の申込書および下段の受講票に記入し、切り離さずに双方に写真を貼付のうえ、学会に郵送で申し込みをしてください。
認定講座費用のお振込も同時に行ってください。お振込の際には通信欄に「認定講座」と記入願います。

臨床栄養師認定講座受講票

受講番号			
認定講座の種別	1. 学会主催 2. 認定講座受託団体主催		(写真貼付) 上半身 4 × 3 cm
フリガナ			
氏名			
生年月日	(西暦) _____年__月__日生まれ () 歳		
自宅住所	〒 _____		

個人経歴・業績書

(臨床栄養師研修)

年 月 日

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会

理事長

殿

氏名 _____ 印

1. 経歴の概要 (学歴・職業・資格)

項目	年 月 日	内 容
最終学歴		
主な職歴		
現在の勤務先		
現在の業務の詳細について	所属部署名 _____ 役職名 _____	
公的資格 (すべての資格を記入して下さい)	取得年月	資 格 名

2. 著書または論文

区 分	内 容
著 書	
論 文	

* 記入欄が不足の時は別の用紙にご記入下さい。

臨床研修施設履修希望票
(臨床栄養師研修用)

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな	
氏名	
職種	
勤務施設名	
自宅住所	〒
自宅電話	
連絡先(昼間)	

研修領域 (臨床栄養師研修者は希望領域に○を付けてください。)	1. 病院研修(特定集中治療室等を含む)(350~450時間) 2. 回復期リハビリ、介護保険施設における研修(150~200時間) 3. 地域栄養ケア活動研修(150~200時間) 4. 給食経営管理研修(150~200時間) (栄養サポートチームは病院で10時間)
---	--

研修施設の履修希望を記入してください。

希望施設 1	
希望施設 2	
希望施設 3	
希望施設 4	
希望施設 5	

学会記入欄	受付日 年 月 日

一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
理事長 殿

年 月 日

氏名 _____ 印

住 所 _____

臨床栄養師認定研修履修互換認定申請書

臨床栄養師認定研修履修互換認定細則第2条(以下「細則」という。)に基づき、認定研修の履修互換の認定を次のとおり申請します

号	要件	認定講座 時間	臨床研修 時間
①	第20回以降管理栄養士国家試験合格	16	—
②	病態栄養専門師、日本糖尿病療養士、栄養サポートチーム専門療法士 (平成19年以降資格取得) (平成18年以前資格取得)	30	40
		30	80
③	TNT-D	40	—
④	日本栄養士会栄養ケア・マネジメント Step1・Step2 研修、管理栄養士専門分野別人材育成事業栄養ケア・マネジメント指導者研修 Step1、Step2	32	
⑤	慢性期医療認定講座	40	—
⑥	全国老人福祉施設協議会栄養ケア・マネジメント研修(平成22年度以降)	8	—
⑦	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター栄養ケア・マネジメント課程	100	760
⑧	臨床栄養師研修施設勤務者(栄養ケア・マネジメント業務経験2年以上)	80	700
⑨	栄養サポートチーム研修修了者	30	10
⑩	臨床栄養師研修施設監督責任者	*	*
⑪	臨床栄養師研修施設研修指導者(一施設1名まで、研修責任者から推薦のあった者)	*	*
⑫	臨床栄養師養成を目的とした講義担当者(対象者1名1時間につき認定講座20分または臨床研修20分)		
⑬	臨床栄養師研修委員会等細則に規定する各種委員会活動(理事長の承認により1年間の活動につき臨床研修60時間)		
⑭	当該学会の研修会(継続研修含む)、研究会、大会、分科会、地方会への終日参加につき1日が認定講座20時間(NST研修科目除く)、口頭発表1回につき別に認定講座3時間		

号	要件	認定講座 時間	臨床研修 時間
⑮	当該学会の提示した症例検討(1 症例が 20 時間に相当、NST 研修科目を除く)		
⑯	査読のある学会誌への掲載論文 原著筆頭 1 件につき 20 時間 () 件 筆頭以外 1 件につき 5 時間 () 件 総説の筆頭 1 件につき 30 時間 () 件 総説の筆頭以外 1 件につき 8 時間 () 件 研究報告の筆頭 1 件につき 10 時間 () 件 研究報告の筆頭以外 1 件につき 5 時間 () 件 以上は認定講座もしくは臨床研修履修時間に相当		
⑰	大学院生及び大学院生であった者(臨床栄養師研修における大学院履修科目互換認定細則により臨床栄養師研修委員会が承認)		
⑱	日本臨床栄養学会、日本臨床栄養協会等から申請のあった大会、研修(e ラーニング含め)等(相当時間は臨床栄養師研修委員会の承認)		
⑲	認定講座受託団体から申請のあった研修(相当時間は臨床栄養師研修委員会の承認)		
⑳	海外での正規の臨床栄養師等の資格(相当時間は臨床栄養師研修委員会の承認)		
㉑	病棟・施設等において 2 年以上栄養ケア実務を実施している者	—	450
㉒	その他の事項(互換時間は臨床栄養師研修委員会の承認)		
	計 ※2 (各自が合計して記載してください)		
	学会確認時間 ※2		
	学会確認印		

※該当する各号、該当する時間全てを○印をつけ、あるいは該当する時間等を記載し、それぞれの申請根拠となる証明書類を添付してください。

※2 合計時間数が最大時間数を超える場合には、最大時間数を記載することとする。

互換認定とは全時間中、表の各番号ごとの時間を免除するということです。栄養ケア・マネジメント業務経験 2 年以上の臨床栄養師研修施設勤務者ですと、臨床研修 900 時間中 700 時間が減免され、200 時間の履修となります。200 時間は 1 日 8 時間とすれば 25 日間で、1 年履修の場合 1 か月に 2 日程度、2 年履修であれば 1 か月に 1 日程度となります。

日本健康・栄養システム学会臨床栄養師研修施設申込書

日本健康・栄養システム学会 研修運営担当宛

メール送信先：ncm.kanou@gmail.com

FAX 番号：03-5829-6679

申込日 令和 年 月 日

施設名	
住所	〒
問い合わせ先	TEL：() — FAX：() —
メールアドレス (問い合わせ先)	
研修責任者 (病院長)	
研修監督責任者 (管理栄養士)	

*この申込用紙にご記入の上、メールまたは FAX にてお送り頂きましたら、臨床栄養師研修施設申請書類の様式を、担当の加納よりメールにて送付させていただきますので、申請書類の提出により申請をお願いいたします。

研修施設として申請・認定された病院は、栄養サポートチーム研修においては、科目 30 時間の受講後に、自施設にて臨床研修 10 時間を行っていただけます。